

介護ロボット・ICT 機器等が介護職員の就業意識に与える影響についてのアンケート調査

報告書

【調査概要】

1. 調査目的
介護人材不足の課題に対する解決策の一つとして期待される介護ロボット等の機器や ICT 技術などの新しい介護テクノロジーの活用が介護職員の就労意識（介護の仕事を長く続けようとする意識）にどの程度の影響を与えるのかを明らかにすること
2. 調査期間
令和7年1月20日～令和7年2月15日
3. 調査対象
栃木県内の介護老人福祉施設および介護老人保健施設に勤務する、直接介護を業務とする職員
施設数 260 内訳 介護福祉施設（206）+介護老人保健施設（54）
※各施設で任意に10名の対象者を選び回答いただくこととした
回答依頼人数 2600人
4. 回答数
272名（回答率10.5%）

【目次】

第1部 単純集計

- | | |
|---|----|
| 1. 回答者基本情報（回答者の属性と心身状況、現場課題に関する関心度） | 2 |
| 2. 回答者就労意識（第1レベル○：就労に対する意識 第2レベル◇：その理由） | 4 |
| 3. 職場基本属性 | 13 |
| 4. 職場の業務改善取り組み状況 | 15 |

第2部 就業意欲との関連分析

- | | |
|-----------------------------|----|
| 1. 就業意欲との関連分析 | 19 |
| 2. 就業意欲と就業可否の関係（今の職場にこだわらず） | 20 |
| 3. 就業意欲に影響を与える要素 | 21 |
| 4. 職場継続意欲に影響を与える要素 | 31 |
| 5. 施設形態と就業意欲の関係 | 34 |
| 6. 施設形態と職場継続意欲の関係 | 36 |

第3部・腰痛との関連分析

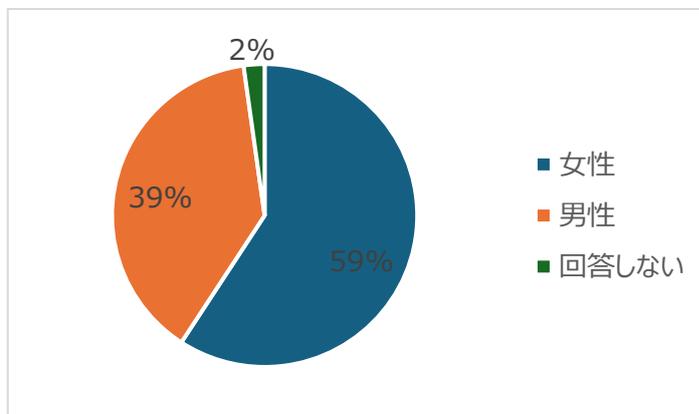
- | | |
|---------------|----|
| 1. 基本属性と腰痛の関係 | 39 |
|---------------|----|

介護ロボット・ICT 機器等が介護職員の就業意識に与える影響についてのアンケート調査
報告書（第1部・単純集計）

1. 回答者基本情報（回答者の属性と心身状況、現場課題に関する関心度）

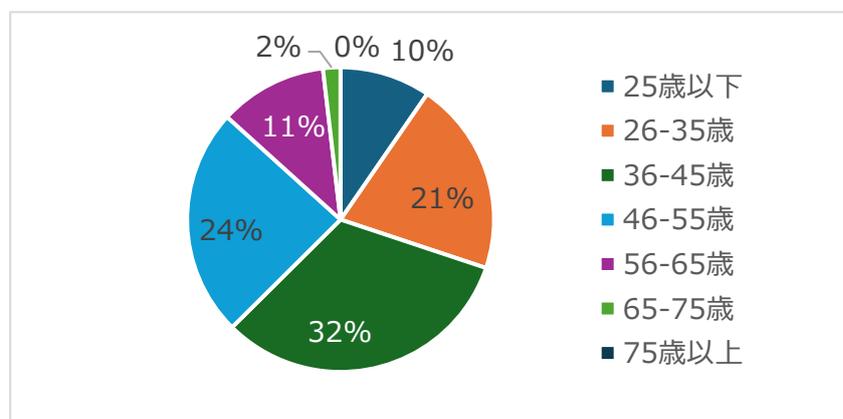
A) 性別

○女性	161
○男性	105
○回答しない	6



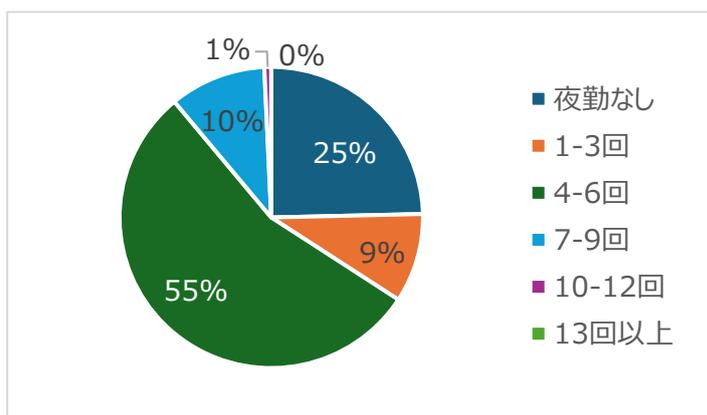
B) 年齢

○25歳未満	26
○25～35歳	56
○36～45歳	88
○46～55歳	66
○55～65歳	31
○65～75歳	5
○76歳以上	0



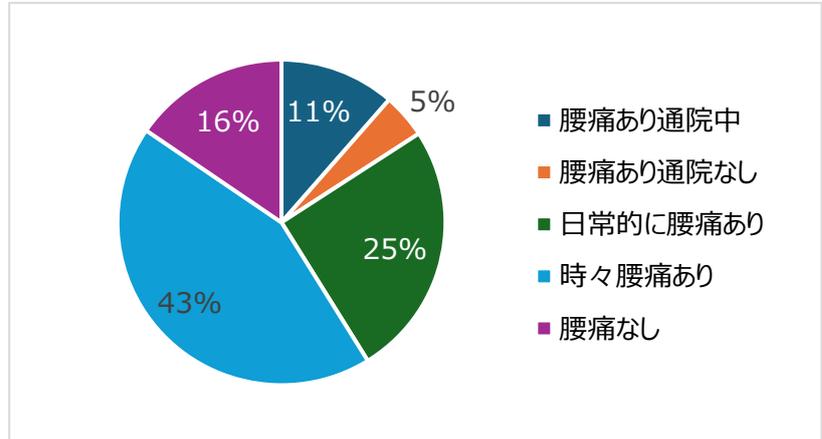
C) 夜勤担当の状況（ひと月の平均的な夜勤担当の日数）

○なし	67
○1～3回	26
○4～6回	149
○6～9回	28
○10～12回	2
○13回以上	0



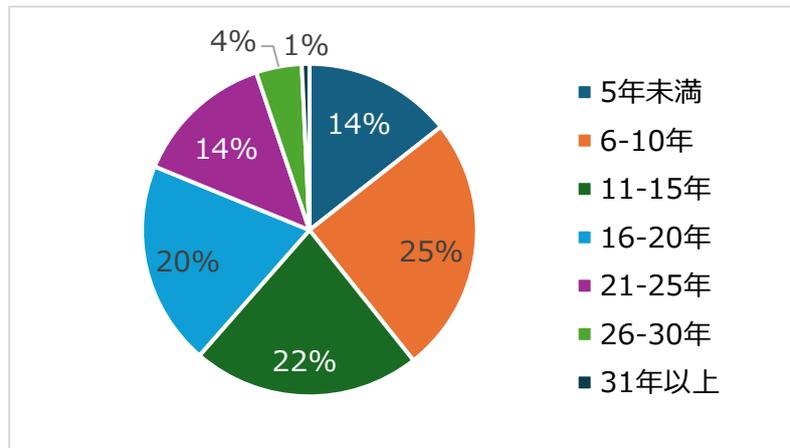
D) 腰痛の有無

○腰痛があり通院している	31
○腰痛があり通院したいと思っている	12
○通院するほどではないが日常的に腰痛を感じている	69
○時々腰痛を感じることもある	118
○腰痛はない	42



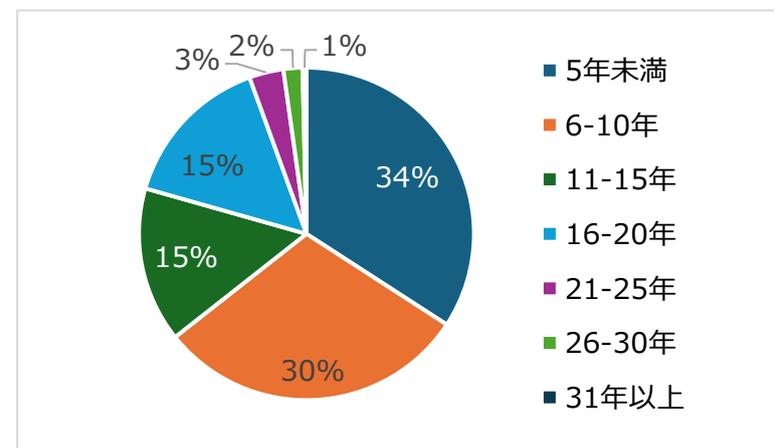
E) 職業としての介護の経験年数

○5年未満	39
○6～10年	68
○11～15年	60
○16～20年	54
○21～25年	37
○26～30年	12
○31年以上	2



F) 現在所属する職場の勤続年数

○5年未満	93
○6～10年	82
○11～15年	41
○16～20年	41
○21～25年	9
○26～30年	5
○31年以上	1



G) 最近の介護現場の課題を表す次の言葉を知っていますか

●介護現場の生産性向上

良く知っている (42) / ある程度知っている (182) / まったく知らない (53)

●ノーリフティングケア

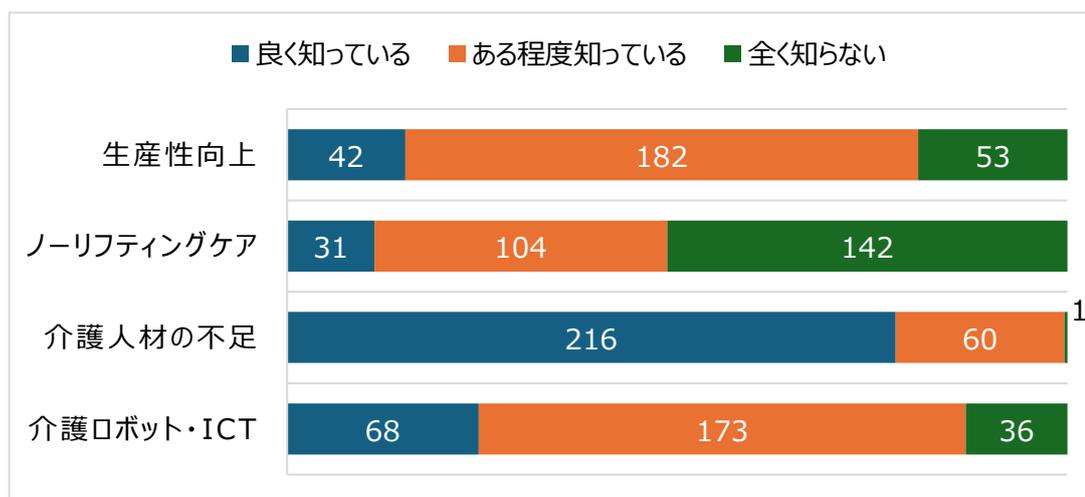
良く知っている (31) / ある程度知っている (104) / まったく知らない (142)

●介護人材の不足

良く知っている (216) / ある程度知っている (60) / まったく知らない (1)

●介護ロボット・ICT

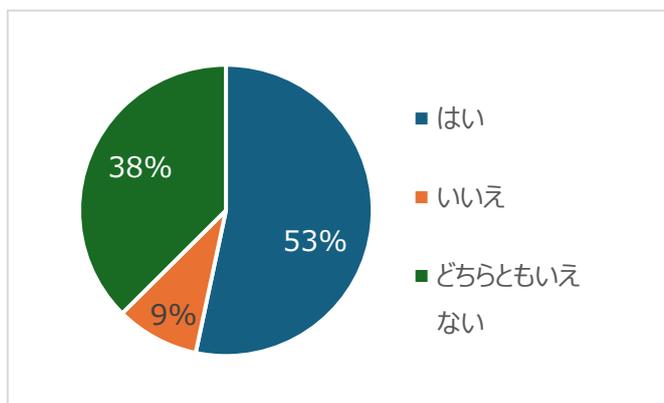
良く知っている (68) / ある程度知っている (173) / まったく知らない (36)



2. 回答者就労意識 (第1レベル○: 就労に対する意識 第2レベル◇: その理由)

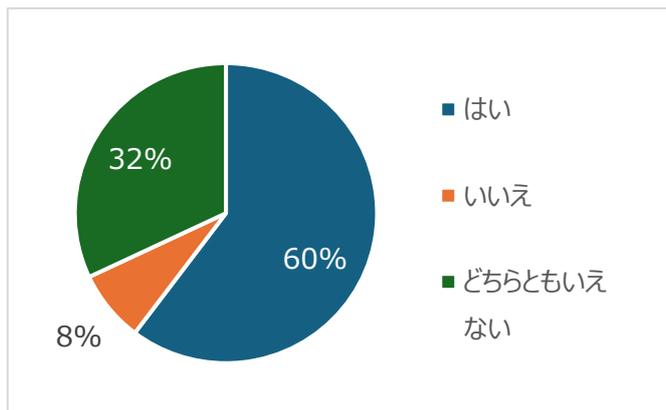
H) 介護の仕事にやりがいを感じていますか

- はい 145
- いいえ 25
- どちらともいえない 102



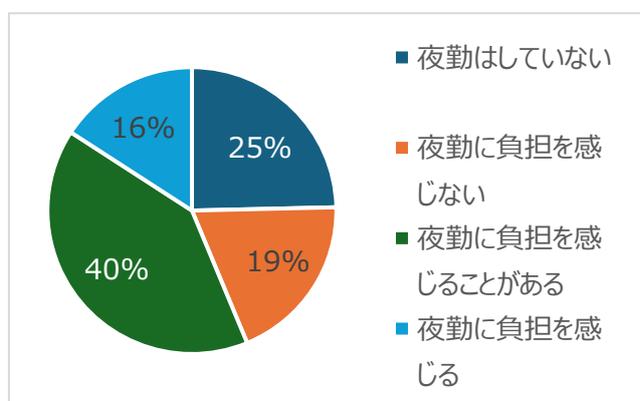
I) 介護の仕事が好きですか

○はい	164
○いいえ	21
○どちらともいえない	87



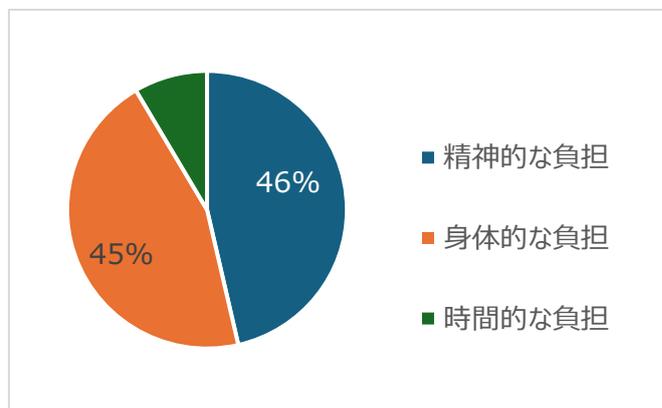
J) 夜勤に負担を感じていますか

○夜勤はしていない	67
○夜勤に負担は感じていない	52
○夜勤に負担を感じることもある	110
○夜勤に負担を感じている	43



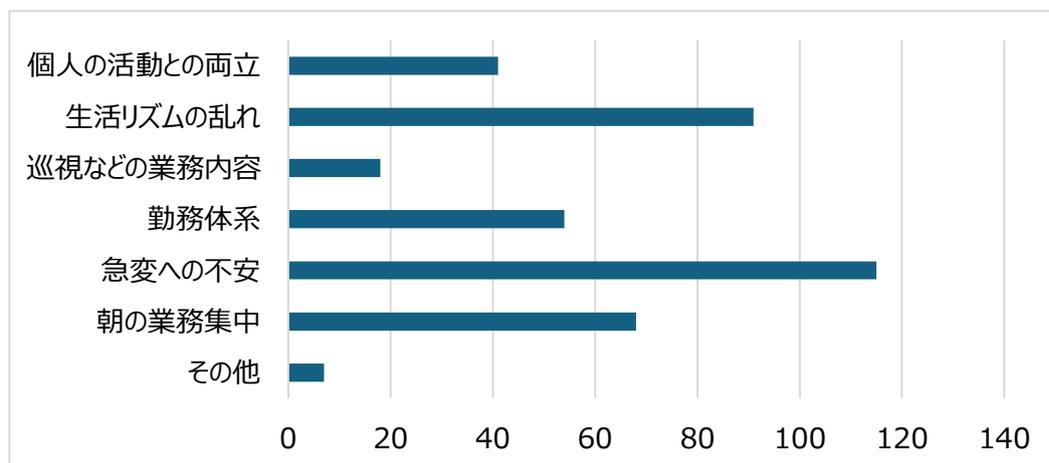
◇夜勤に感じる負担について、最も強く感じているのはどれですか

<input type="checkbox"/> 精神的な負担	71
<input type="checkbox"/> 身体的な負担	69
<input type="checkbox"/> 時間的な負担	13



◇夜勤で負担に感じることは何ですか？（複数回答可）

<input type="checkbox"/> 家庭生活との両立	41
<input type="checkbox"/> 生活リズムの乱れ	91
<input type="checkbox"/> 巡視などの業務内容	18
<input type="checkbox"/> ひとり勤務など勤務体系	54
<input type="checkbox"/> 入居者の転倒、体調変化や急変への不安	115
<input type="checkbox"/> 起床介護など朝の業務集中	68
<input type="checkbox"/> その他	7

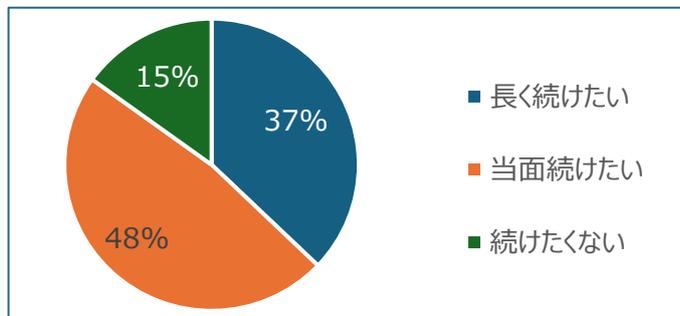


◇その他の回答

- ・準夜勤職員が仕事を残していくので残業になってしまう
- ・一緒にシフトを組む職員との相性や業務量の割合
- ・カルテ、看取りの方の管理、巡回などの業務量が多い
- ・巡視などの業務
- ・他職員との人間関係

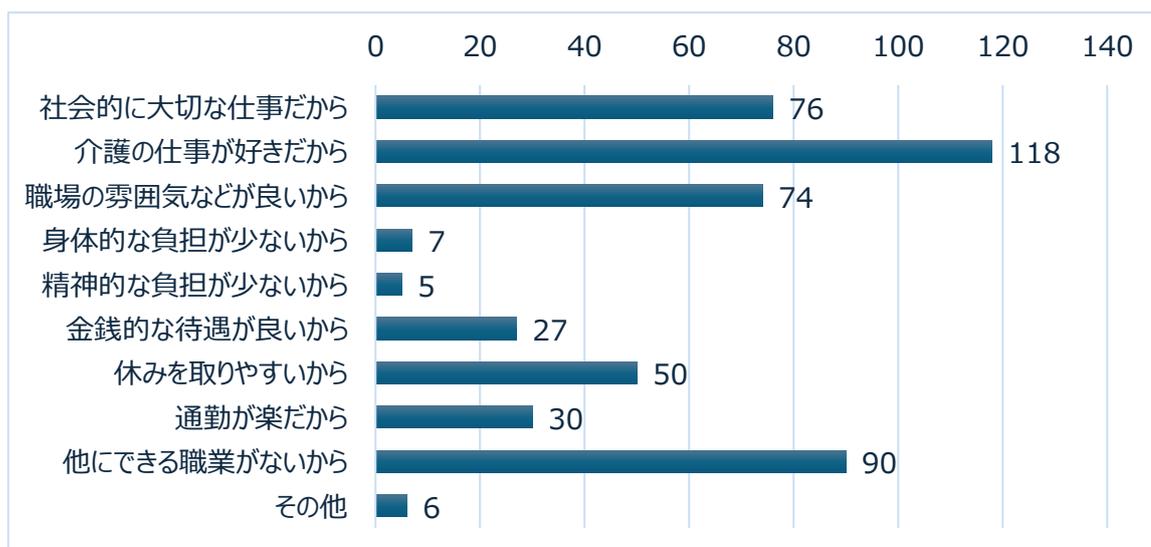
K) 今の職場にこだわらず、介護の仕事を続けたいですか
 (実際に続けられるかではなく続けたい希望があるかを回答)

○長く続けたい (目安として 10 年以上)	101
○当面続けたい (目安として 3 年以上)	130
○介護の仕事を続けたくはない	41



◇長く続けたい、当面続けたい理由 (複数回答)

<input type="checkbox"/> 社会的に大切な仕事だから	76
<input type="checkbox"/> 介護の仕事が好きだから	118
<input type="checkbox"/> 職場の雰囲気等が良いから	74
<input type="checkbox"/> 身体的な負担が少ないから	7
<input type="checkbox"/> 精神的な負担が少ないから	5
<input type="checkbox"/> 金銭的な待遇が良いから	27
<input type="checkbox"/> 休みをとりやすいから	50
<input type="checkbox"/> 通勤が楽だから	30
<input type="checkbox"/> ほかにできる職業、やりたい職業がないから	90
<input type="checkbox"/> その他	6

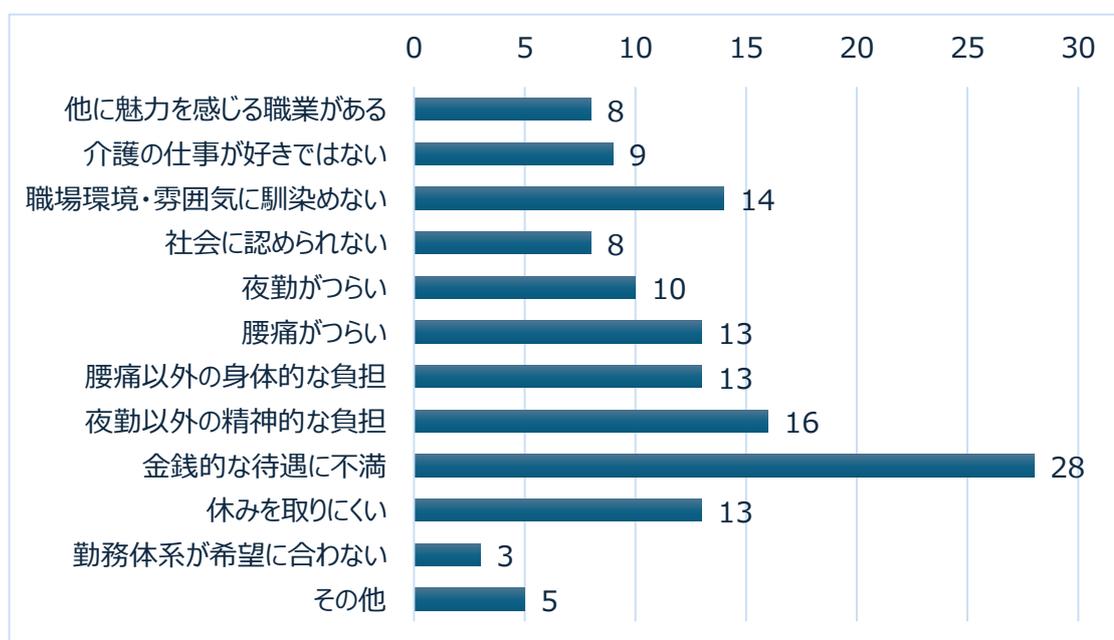


◇その他の回答

- ・生活のため (同内容 4 件)
- ・資格取得のため

◇続けたくない理由（複数回答）

<input type="checkbox"/> ほかに魅力を感じる職業がある	8
<input type="checkbox"/> 介護の仕事が好きではない、自分に合わない	9
<input type="checkbox"/> 職場環境、雰囲気になじめない	14
<input type="checkbox"/> 仕事の価値が社会に認められない	8
<input type="checkbox"/> 夜勤がつらいから	10
<input type="checkbox"/> 腰痛がつらいから	13
<input type="checkbox"/> 腰痛以外の身体的な負担が大きい	13
<input type="checkbox"/> 夜勤以外の精神的な負担が大きい	16
<input type="checkbox"/> 金銭的な待遇に満足できない	28
<input type="checkbox"/> 休みをとりにくい	13
<input type="checkbox"/> 夜勤など勤務形態が希望に合わない	3
<input type="checkbox"/> その他	5



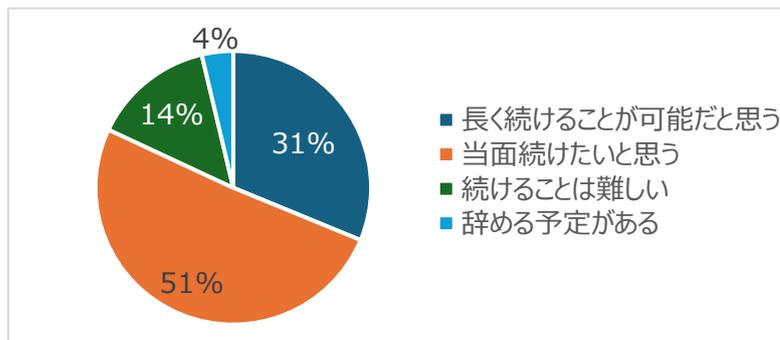
◇その他の回答

- ・家族が病気で仕事をつづけられない
- ・経営陣の考えが理解できない
- ・経営側が現場のことを考えていないと感じる
- ・利用者様とのコミュニケーションに疲れたから
- ・業務負担が多すぎて有給が取得できない
- ・専門性がある職業とされてるが、実際には専門性はなくとも従事できてしまう。これではこの業界の未来が見えない。特にロボット・ICT 機器等を導入していくのであればさらに専門性の有無が今後の介護人材に大きく左右されると考える。

L) 今の職場にこだわらず、介護の仕事を続けることが可能ですか

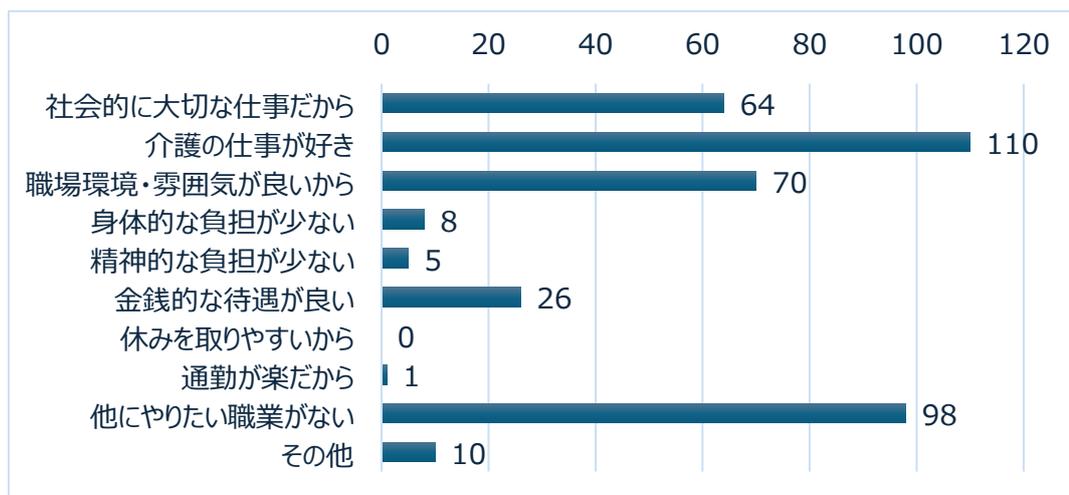
(希望ではなく実際に続けることができるかを回答)

○長く続けることが可能だと思っている (目安として10年以上)	85
○当面続けることが可能だと思っている (目安としておよそ3年以上)	138
○続けることは難しいと考えている。(目安として3年以上続けること) →	39
○辞める予定がある、または辞める準備をしている	10



◇長く続ける、当面続けることが可能な理由 (複数回答)

<input type="checkbox"/> 社会的に大切な仕事だから	64
<input type="checkbox"/> 介護の仕事が好きだから	110
<input type="checkbox"/> 職場の雰囲気等が良いから	70
<input type="checkbox"/> 身体的な負担が少ないから	8
<input type="checkbox"/> 精神的な負担が少ないから	5
<input type="checkbox"/> 金銭的な待遇が良いから	26
<input type="checkbox"/> 休みをとりやすいから	0
<input type="checkbox"/> 通勤が楽だから	1
<input type="checkbox"/> ほかにできる職業、やりたい職業がないから	98
<input type="checkbox"/> その他	10

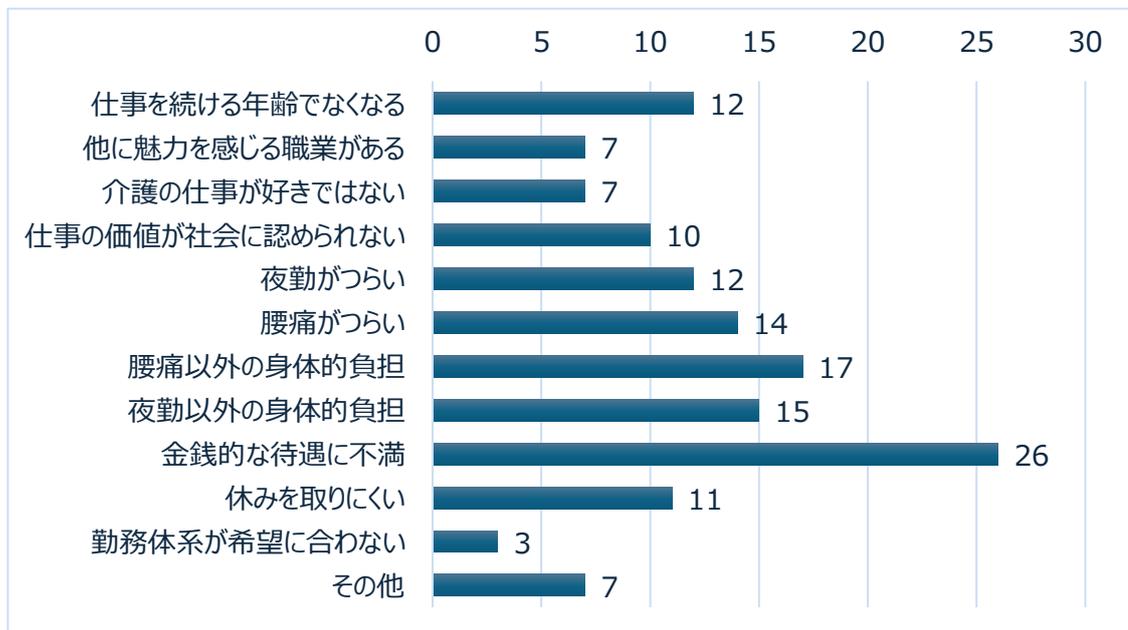


◇その他の回答

- ・ある程度シフトに融通が利くから
- ・やりがいを感じるから
- ・ほかの仕事へ移っても給料が下がってしまうと思うから
- ・気が合うスタッフがいるから
- ・長く続けられると思うから

◇続けることが難しい、やめる予定の理由（複数回答）

<input type="checkbox"/> 仕事を続ける年齢ではなくなる	12
<input type="checkbox"/> ほかに魅力を感じる職業がある	7
<input type="checkbox"/> 介護の仕事が好きではない、自分に合わない	7
<input type="checkbox"/> 仕事の価値が社会に認められない	10
<input type="checkbox"/> 夜勤がづらいから	12
<input type="checkbox"/> 腰痛がづらいから	14
<input type="checkbox"/> 腰痛以外の身体的な負担が大きい	17
<input type="checkbox"/> 夜勤以外の精神的な負担が大きい	15
<input type="checkbox"/> 金銭的な待遇に満足できない	26
<input type="checkbox"/> 休みをとりにくい	11
<input type="checkbox"/> 夜勤など勤務形態が希望に合わない	3
<input type="checkbox"/> その他	7

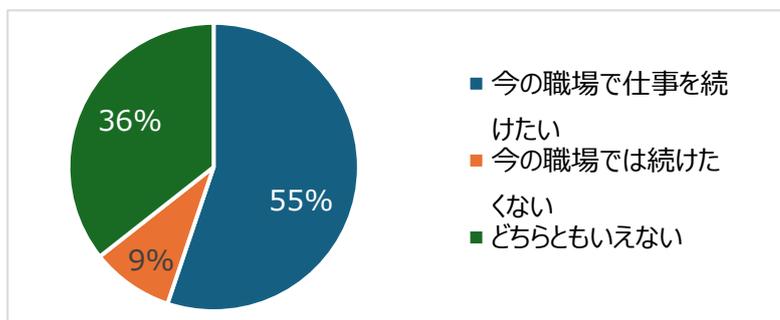


◇その他の回答

- ・希望のシフトで働けないから
- ・上司のパワハラ・モラハラ
- ・現場と経営側の価値観のズレ

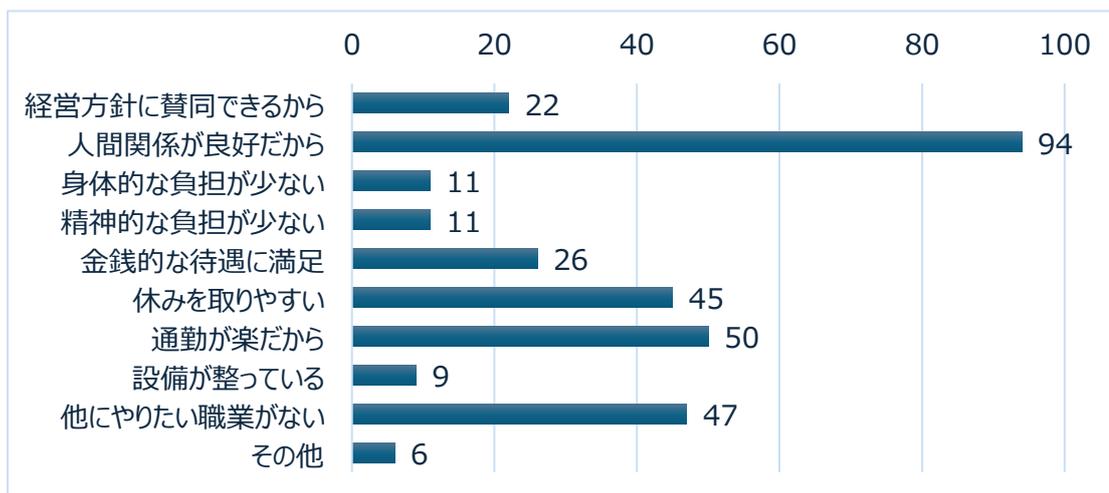
M) 今の職場で介護の仕事を続けたいですか

○今の職場で介護の仕事を続けたい	150
○今の職場では介護の仕事を続けたくない	25
○どちらとも言えない	97



◇今の職場で仕事を続けたい理由（複数回答）

<input type="checkbox"/> 経営理念・経営方針に賛同できるから	22
<input type="checkbox"/> 人間関係が良好だから	94
<input type="checkbox"/> 身体的な負担が少ないから	11
<input type="checkbox"/> 精神的な負担が少ないから	11
<input type="checkbox"/> 金銭的な待遇が良いから	26
<input type="checkbox"/> 休みをとりやすいから	45
<input type="checkbox"/> 通勤が楽だから	50
<input type="checkbox"/> 福祉機器などの設備が整っているから	9
<input type="checkbox"/> ほかにできる職業、やりたい職業がないから	47
<input type="checkbox"/> その他	6

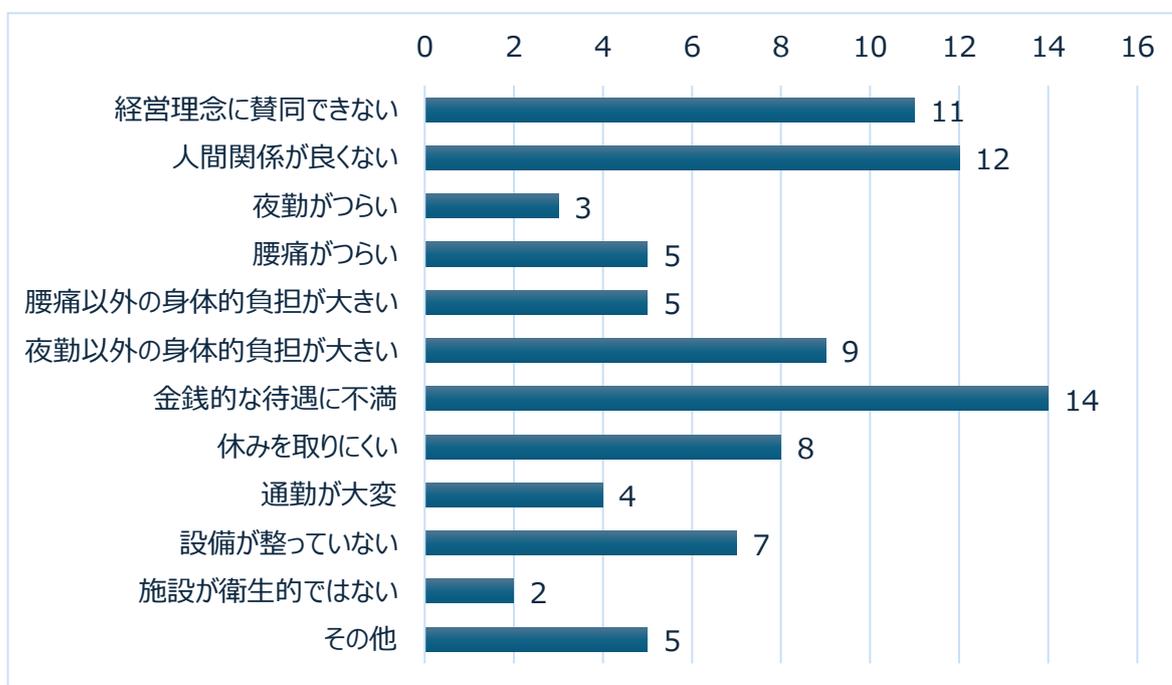


◇その他の回答

- ・やりがいを感じるから
- ・介護のスキルアップをし続けたいから
- ・自分がシフトを作る立場にいるから
- ・長く勤めているから
- ・ほかの介護現場でも内容は変わらないと思うから

◇今の職場では介護の仕事を続けたくない理由

<input type="checkbox"/> 経営理念・経営方針に賛同できない	11
<input type="checkbox"/> 人間関係が良くない	12
<input type="checkbox"/> 夜勤が辛いから	3
<input type="checkbox"/> 腰痛が辛いから	5
<input type="checkbox"/> 腰痛以外の身体的な負担が大きい	5
<input type="checkbox"/> 夜勤以外の精神的な負担が大きい	9
<input type="checkbox"/> 金銭的な待遇に満足できない	14
<input type="checkbox"/> 休みをとりにくい	8
<input type="checkbox"/> 通勤が大変	4
<input type="checkbox"/> 福祉機器などの設備が整っていない	7
<input type="checkbox"/> 施設が衛生的でない	2
<input type="checkbox"/> その他	5



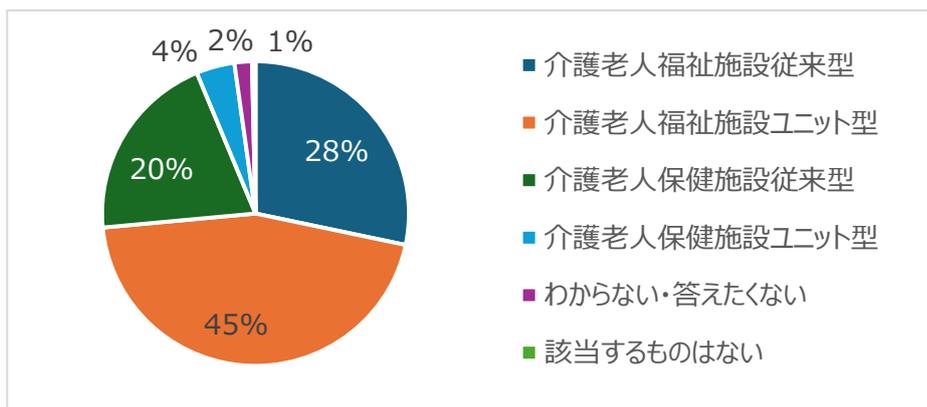
◇その他の回答

・上司のパワハラ・モラハラ

3. 職場基本属性

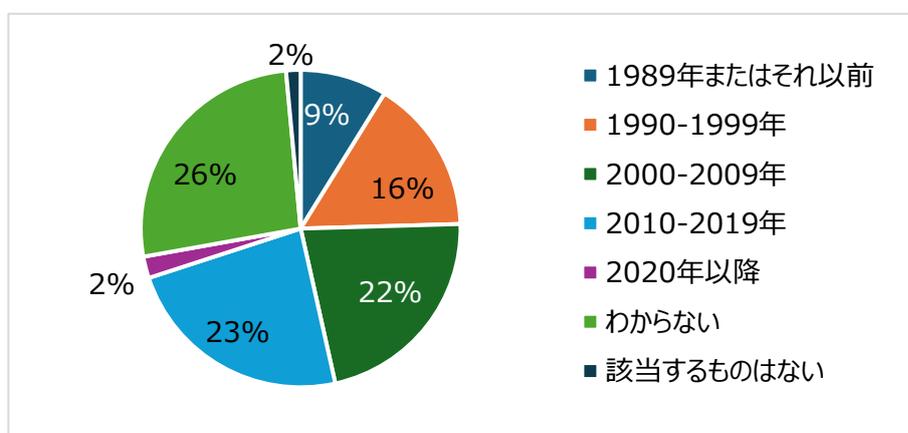
O) 勤務先の施設形態

○介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）従来型	77
○介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）ユニット型	123
○介護老人保健施設 従来型	55
○介護老人保健施設 ユニット型	11
○わからない・答えたくない	5
○該当するものはない	1



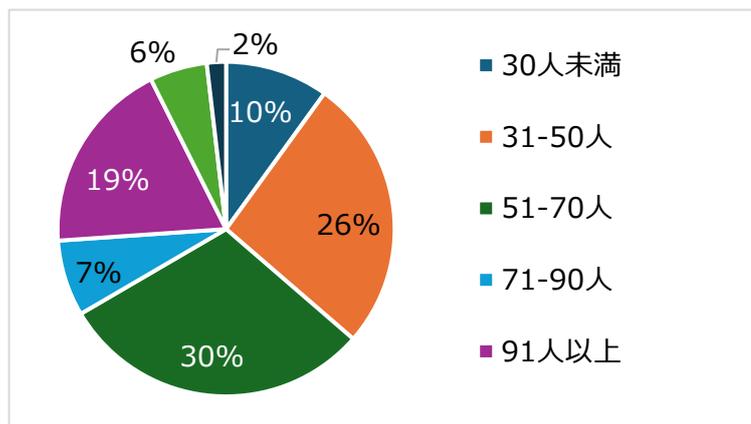
P) 設立年代（建て替え等大規模改修があった場合は改修した年代）

○1989年（平成元年）またはそれ以前	24
○1990年～1999年（平成2年～平成11年）	43
○2000年～2009年（平成12年～平成21年）	60
○2010年～2019年（平成22年～令和元年）	64
○2020年（令和2年）以降	6
○わからない・答えたくない	72
○該当するものはない	4



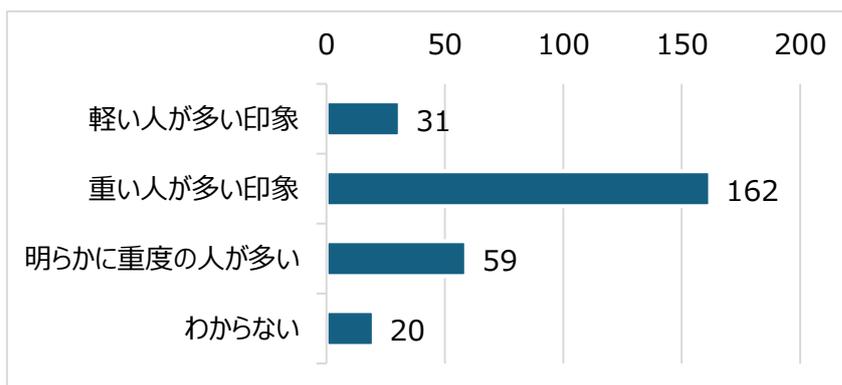
Q) 入居者数（ショートステイがある場合は入居者定員とショート定員の合計）

○30人未満	27
○31人～50人	72
○51人～70人	82
○71人～90人	20
○91人以上	51
○わからない・答えたくない	15
○該当するものはない	5



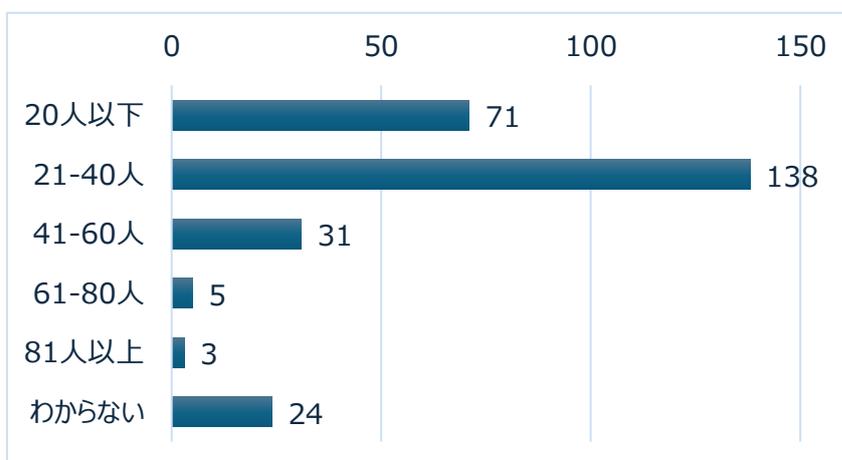
R) 入居者の要介護の程度（主観的な印象でお答えください）

○どちらかといえば軽い人が多い印象	31
○どちらかといえば重度の人が多く印象	162
○明らかに重度の人が多く印象	59
○わからない	20



S) 直接介護にあたる職員の数

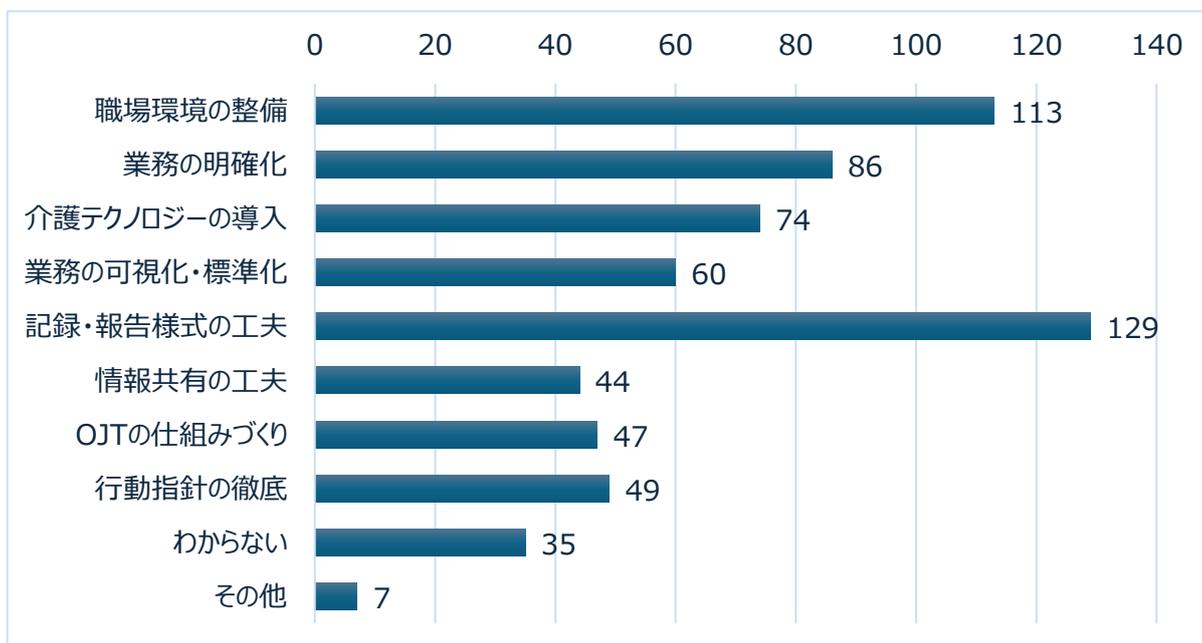
○20人以下	71
○21人～40人	138
○41人～60人	31
○61人～80人	5
○81人以上	3
○わからない	24



4. 職場の業務改善取り組み状況

T) あなたが所属する施設で積極的に行っていると感じる業務改善（生産性向上）の取り組み（複数回答可）

○職場環境の整備（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）に積極的に取り組んでいる	113
○業務の明確化と役割分担の見直しに積極的に取り組んでいる	86
○介護テクノロジー（介護機器・ロボット・センサー・ICT など）を積極的に導入している	74
○手順書を作成し、業務の可視化、標準化に積極的に取り組んでいる	60
○記録・報告様式の工夫、電子化（タブレット等の活用）に積極的に取り組んでいる	129
○情報共有の工夫（インカムやグループウェアの活用）に積極的に取り組んでいる	44
○OJT（業務の中で業務手順などを教育すること）の仕組みを作っている	47
○施設や法人の理念・行動指針が徹底されている	49
○わからない	35
○その他	7

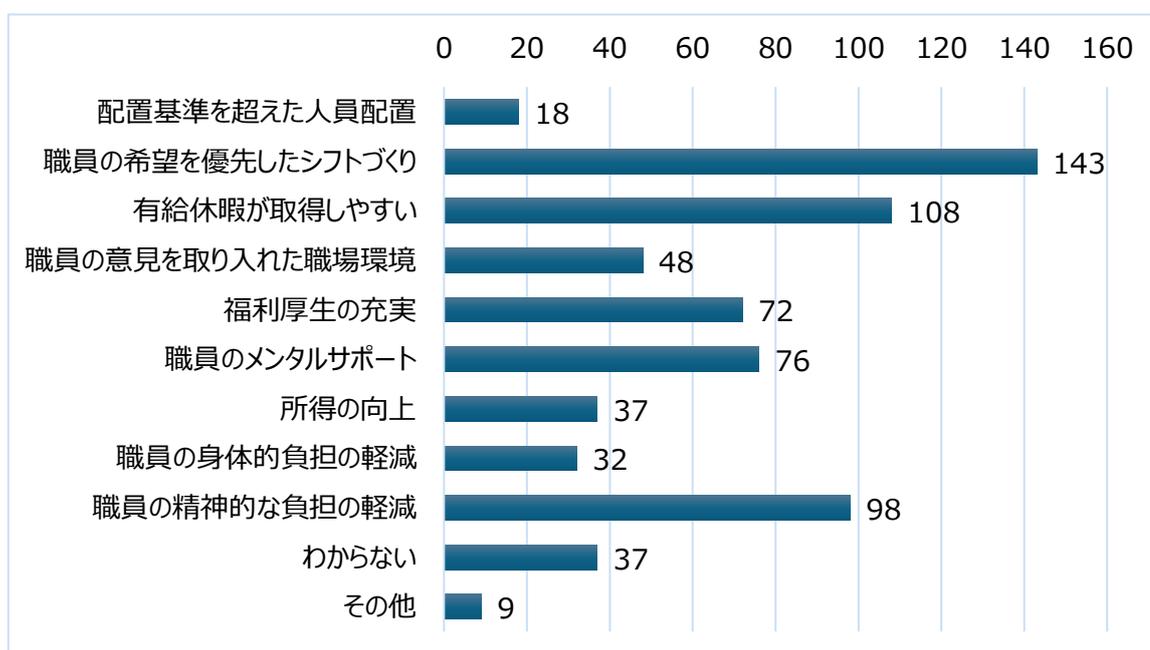


◇その他の回答

- ・該当するものはない（3件）
- ・改善してくれる感じがしない
- ・オーバーワークで仕組みづくりに割く時間がない
- ・いずれも実施しているがすべて中途半端
- ・理想論で実がない

U) あなたが所属する施設で積極的に行われていると感じる待遇改善の取り組み（複数回答可）

○配置基準を超えた人員配置を行っている	18
○職員の希望を優先した勤務シフトづくりがなされている	143
○有給休暇が取得しやすい	108
○職員の意見を取り入れた職場環境づくりがなされている	48
○福祉厚生 of 充実に取り組んでいる	72
○ストレスチェックやカウンセリングなど、職員のメンタルサポートに取り組んでいる	76
○所得（給与・賞与や各種手当）の向上に取り組んでいる	37
○移乗介護機器の導入などにより、職員の身体的な負担の軽減に取り組んでいる	32
○見守りセンサーの導入などにより、職員の精神的な負担の軽減に取り組んでいる	37
○その他	9

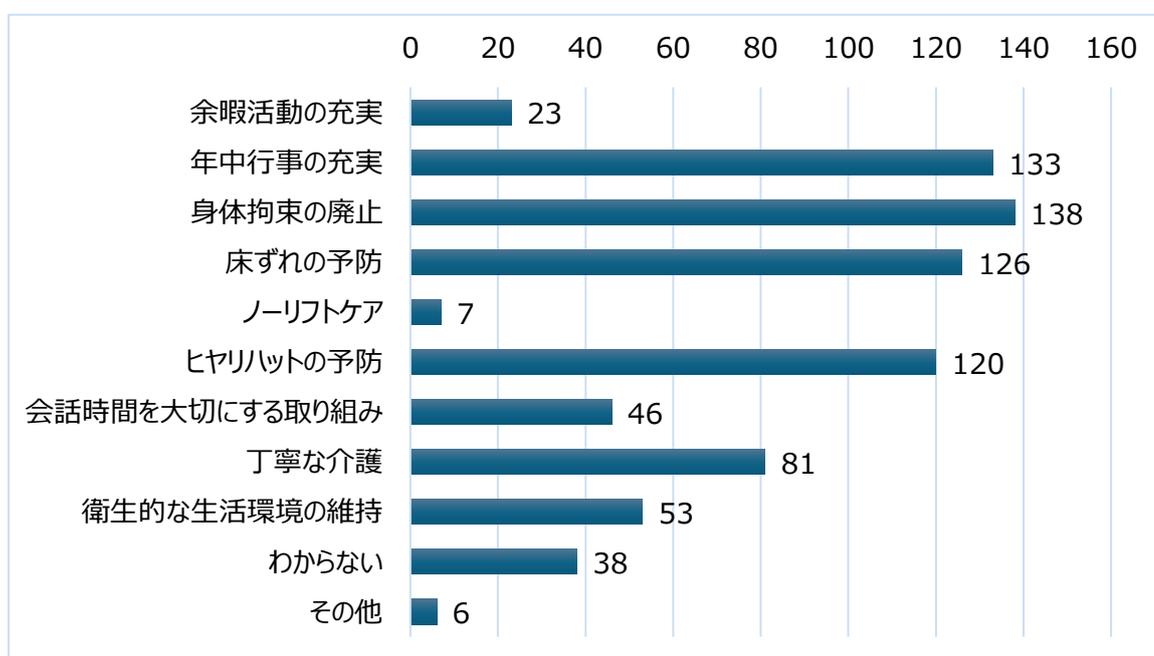


◇その他の回答

- ・できない人にやれとかよくある
- ・あてはまるものはない（5件）
- ・何かしらあると思うが実感がない
- ・いろいろ掲げているが、実際には反映されていないことや、還元されていないことが多い
- ・どれも中途半端に実施されている

V) あなたが所属する施設で積極的に行われていると感じる介護の質を向上させる取り組み（複数回答可）

○余暇活動の充実に積極的に取り組んでいる	23
○お花見やクリスマスなどの年中行事の充実に積極的に取り組んでいる	133
○身体拘束の廃止に積極的に取り組んでいる	138
○床ずれの予防に積極的に取り組んでいる	126
○ノーリフトケアに積極的に取り組んでいる	7
○事故やヒヤリハットの予防に積極的に取り組んでいる	120
○入居者様への声掛けや会話時間を大切にする取り組みを行っている	46
○丁寧な介護を実施することに積極的に取り組んでいる	81
○衛生的な生活環境の維持に積極的に取り組んでいる	53
○わからない	38
○その他	6

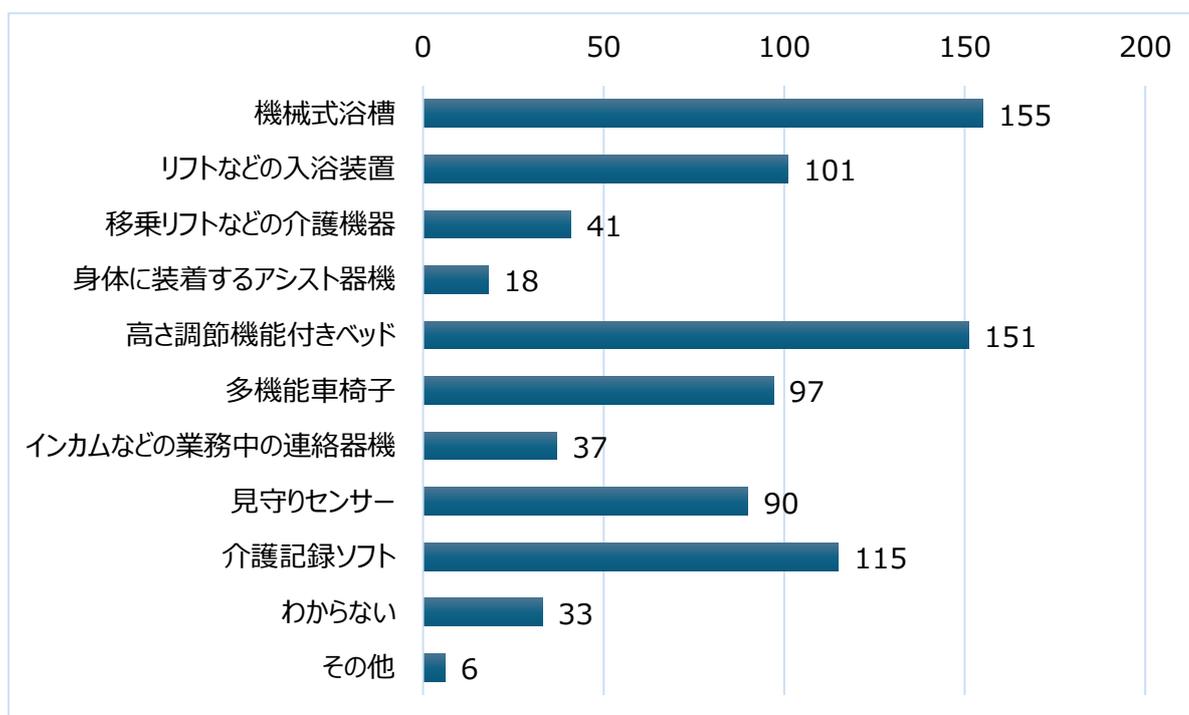


◇その他の回答

- ・どれもあてはまらない（4件）

W) あなたが所属する施設で積極的に利用されていると感じる介護テクノロジー（複数回答可）

○寝たままでの入浴が可能な機械式浴槽	155
○家庭浴（個浴）での職員の負担を軽減するリフト等の入浴装置	101
○ベッドから車椅子への移乗などで職員の負担を軽減するリフト等の介護機器	41
○ベッドから車椅子への移乗などで職員が身体に装着するアシスト機器	18
○職員の負担の少ない高さに昇降させることが出来るベッドの高さ調整機能	151
○アームサポートの着脱やリクライニング等ができる多機能な車いす	97
○職員同士が業務中の連絡に利用するインカム	37
○入居者様の離床や心拍数などを検知し通知する見守りセンサー	90
○介護記録記入（入力）を効率化し、業務負担を軽減する介護記録ソフト	115
○わからない	33
○その他	6



◇その他の回答

- ・どれも当てはまらない
- ・移乗ロボットやアシストスーツをレンタルして検討中

介護ロボット・ICT 機器等が介護職員の就業意識に与える影響についてのアンケート調査
報告書（第2部・就業意欲との関連分析）

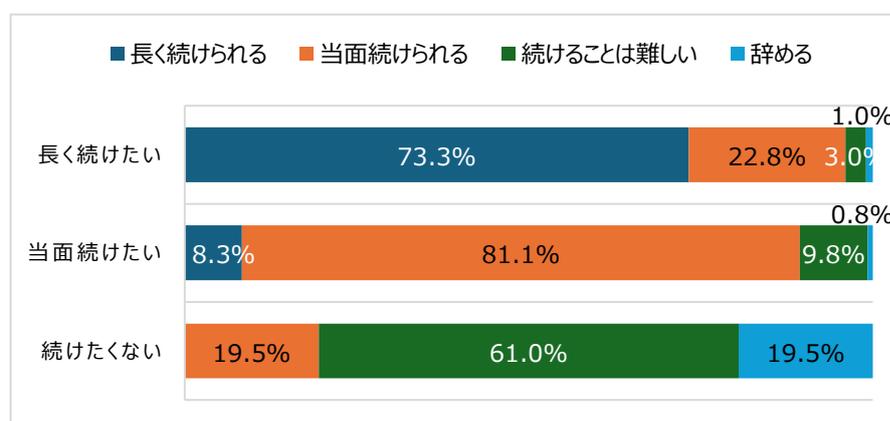
1. 就業意欲と就業可否の関係（今の職場にこだわらず）

（就業意欲 = 今の職場にこだわらず介護の仕事を続けたいですかの回答内容）

（就業可否 = 今の職場にこだわらず介護の仕事を続けることが可能ですかの回答内容）

① 実数

	長く続けられる	当面続けられる	続けることは難しい	辞める予定
長く続けたい	74	23	3	1
当面続けたい	11	107	13	1
続けたくない	0	8	25	8



○「長く続けたい」「当面続けたい」にもかかわらず「続けることが難しい」「やめる予定」の回答が18人（7.7%）→イ
○「続けたくない」にもかかわらず「当面続けられる」の回答が8人（19.5%）

② 理由

イ) 「長く続けたい」「当面続けたい」にもかかわらず「続けることが難しい」「やめる予定」の理由

- 金銭的な待遇に満足できない 8
 - 仕事を続ける年齢ではなくなる 6
 - 腰痛がつらいから 6
 - 夜勤以外の精神的な負担が大きい 6
 - 休みをとりにくい 5
 - 腰痛以外の身体的な負担が大きい 4
 - 夜勤がつらいから 4
 - 仕事の価値が社会に認められない 3
 - 夜勤など勤務形態が希望に合わない 1
 - その他 1
- （不穏な利用者様とのコミュニケーションに疲れたから）
- ほかに魅力を感じる職業がある 0
 - 介護の仕事が好きではない、自分に合わない 0

ロ) 「続けることが難しい」「やめる予定」にもかかわらず「長く続けたい」「当面続けたい」の理由

<input type="checkbox"/> 職場の雰囲気等が良いから	9
<input type="checkbox"/> 介護の仕事が好きだから	8
<input type="checkbox"/> ほかにできる職業、やりたい職業がないから	6
<input type="checkbox"/> 社会的に大切な仕事だから	5
<input type="checkbox"/> 金銭的な待遇が良いから	5
<input type="checkbox"/> 休みをとりやすいから	3
<input type="checkbox"/> 通勤が楽だから	3
<input type="checkbox"/> 身体的な負担が少ないから	1
<input type="checkbox"/> 精神的な負担が少ないから	1

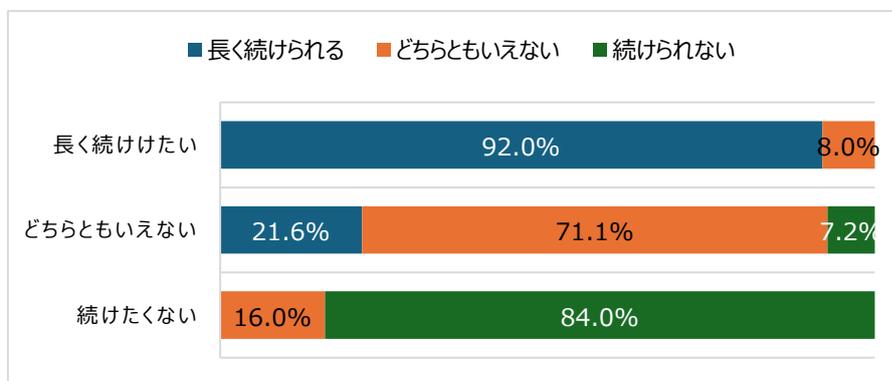
2. 職場継続意欲と職場継続可否の関係 (今の職場で)

(職場継続意欲 = 今の職場で介護の仕事を続けたいですかの回答内容)

(職場継続可否 = 今の職場で介護の仕事を続けることが可能ですかの回答内容)

① 実数

	長く続けられる	どちらともいえない	続けられない
長く続けたい	138	12	0
どちらともいえない	21	69	7
続けたくない	0	4	21



○「長く続けたい」にもかかわらず「どちらとも言えない」の回答は 12 (8.0%)

○「どちらとも言えない」にもかかわらず「長く続けられる」の回答は 21 (21.6%) →イ)

○「続けたくない」にもかかわらず「どちらとも言えない」も回答は 4 (16.0%)

② 理由

イ) 「どちらとも言えない」にもかかわらず「長く続けられる」の理由

<input type="checkbox"/> 通勤が楽だから	12
<input type="checkbox"/> 人間関係が良好だから	9
<input type="checkbox"/> 休みをとりやすいから	7
<input type="checkbox"/> 施設が衛生的だから	3
<input type="checkbox"/> 金銭的な待遇が良いから	2
<input type="checkbox"/> 身体的な負担が少ないから	1
<input type="checkbox"/> 精神的な負担が少ないから	1

- 福祉機器などの設備が整っているから 1
- 経営理念・経営方針に賛同できるから 0

ロ) 「どちらとも言えない」にもかかわらず「続けられない」の理由

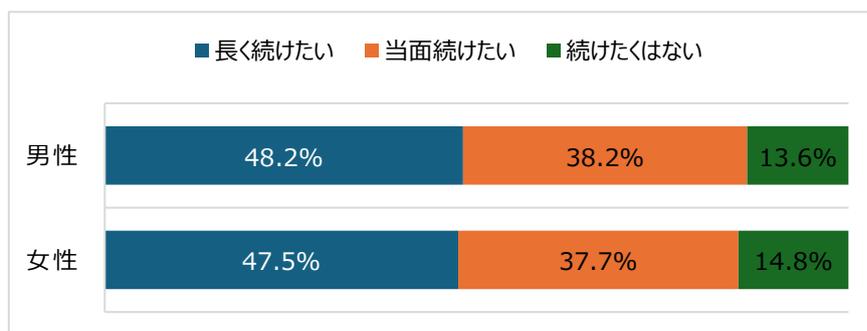
- 金銭的な待遇に満足できない 6
- 夜勤が辛いから 3
- 福祉機器などの設備が整っていない 3
- 休みをとりにくい 3
- 人間関係が良くない 2
- 夜勤以外の精神的な負担が大きい 2
- 通勤が大変 2
- 腰痛が辛いから 1
- 経営理念・経営方針に賛同できない 1
- 施設が衛生的でない 1
- 腰痛以外の身体的な負担が大きい 0

3. 就業意欲に影響を与える要素

(就業意欲 = 今の職場にこだわらず介護の仕事が続けたいですかの回答内容)

① 性別の影響

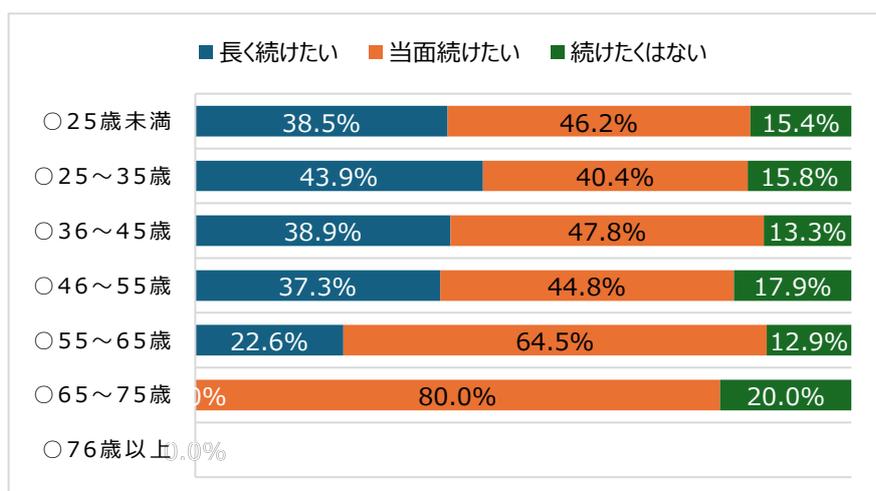
	長く続けたい	当面続けたい	続けたくはない
男性	53	42	15
女性	77	61	24



○性別の影響は少ない

② 年齢の影響

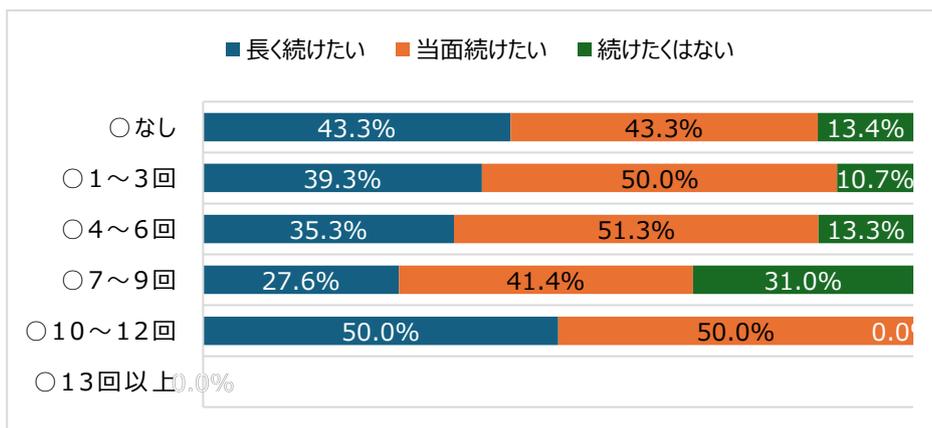
	長く続けたい	当面続けたい	続けたくはない
○25歳未満	10	12	4
○25～35歳	25	23	9
○36～45歳	35	43	12
○46～55歳	25	30	12
○55～65歳	7	20	4
○65～75歳	0	4	1
○76歳以上	0	0	0



○35歳以下の「長く続けたい」が相対的に高い
 ○46～55歳世代の「続けたくはない」割合が高い（この世代に対する就業意欲向上取り組みの必要性）

③ 夜勤の影響

	長く続けたい	当面続けたい	続けたくはない
○13回以上	0	0	0
○10～12回	1	1	0
○6～9回	8	12	9
○4～6回	53	77	20
○1～3回	11	14	3
○なし	29	29	9



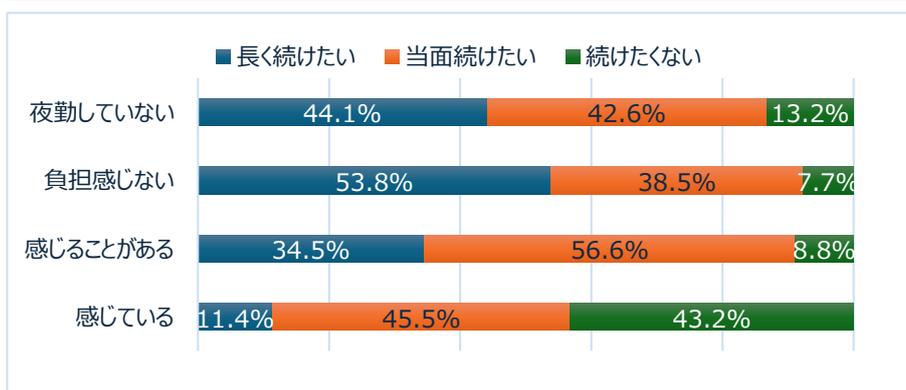
○10 回以上はサンプルが少なく検討できない

○夜勤回数が多いと「続けたくない」が増加する傾向

○夜勤 7 回以上で「続けたくない」が急拡大する傾向

④ 夜勤負担感の影響

	長く続けたい	当面続けたい	続けたくない
夜勤していない	30	29	9
負担感がない	28	20	4
感じることもある	39	64	10
感じている	5	20	19

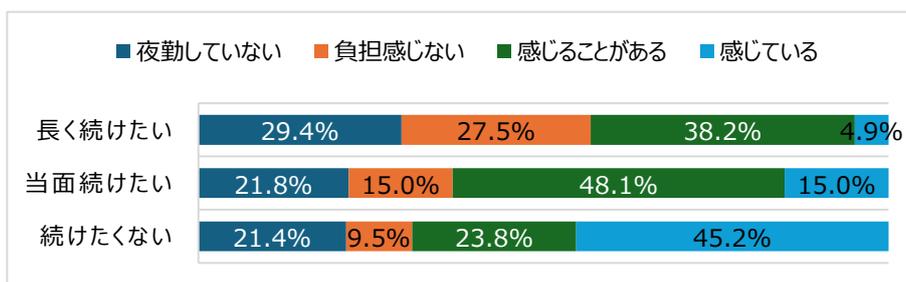


○夜勤の負担を感じているグループでは明らかに就業意欲が低くなっている

○「長く続けたい」と回答した人の56.9%は「夜勤していない」または「夜勤に負担を感じていない」

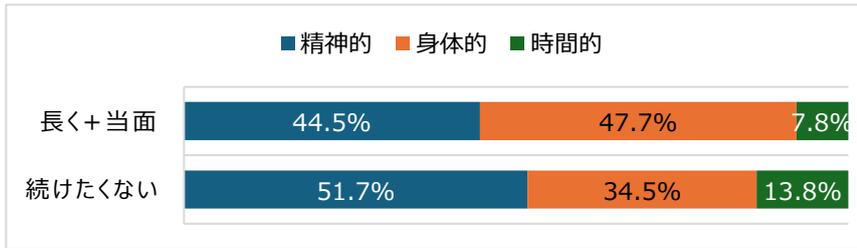
○「続けたくない」と回答した人の69%は負担を「感じることもある」「感じている」

(夜勤負担感の軽減が必要)

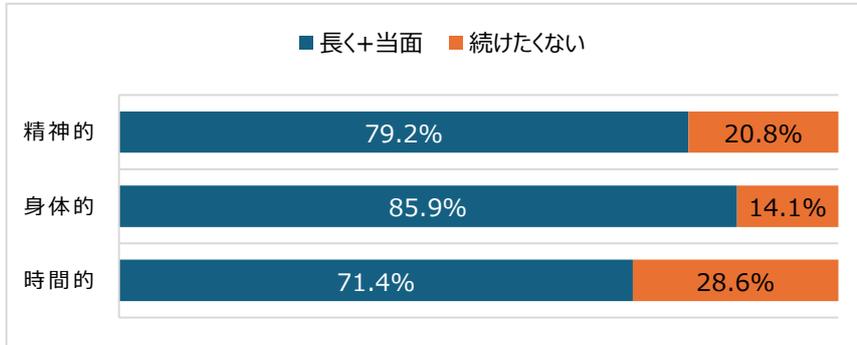


⑤ 夜勤で感じる負担の内容との関係

	精神的	身体的	時間的
長く+当面続けたい	57	61	10
続けたくない	15	10	4

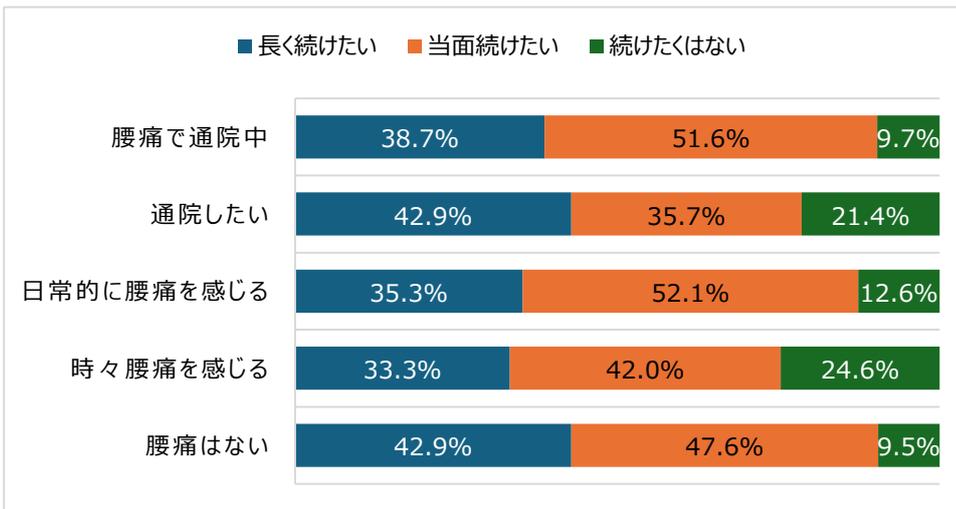


○「続けたくない」と回答した人が感じている負担の内容は、時間的負担と精神的負担がより高い傾向



⑥ 腰痛の影響

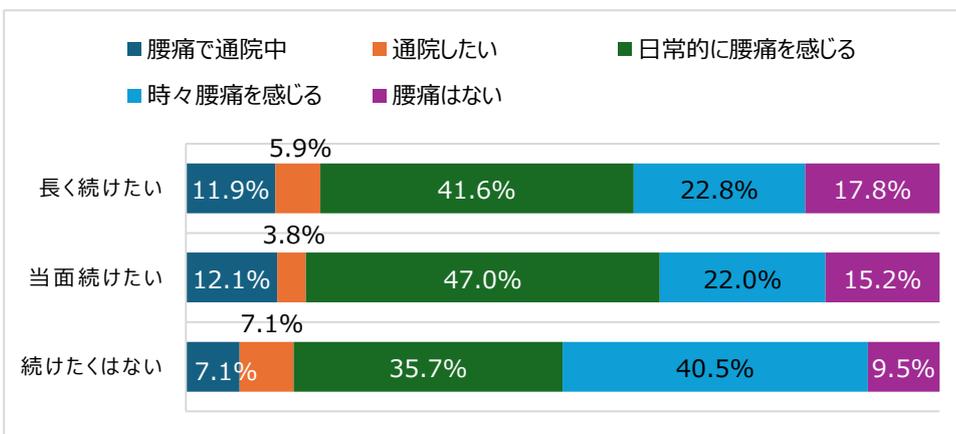
	長く続けたい	当面続けたい	続けたくはない
腰痛で通院中	12	16	3
通院したい	6	5	3
日常的に腰痛を感じる	42	62	15
時々腰痛を感じる	23	29	17
腰痛はない	18	20	4



○「腰痛はない」と回答した人の就業意欲が高い傾向から、腰痛の予防が重要と考えられる。

○腰痛があっても通院している人は比較的就業意欲が高い傾向がある。

(予防と治療が大切)

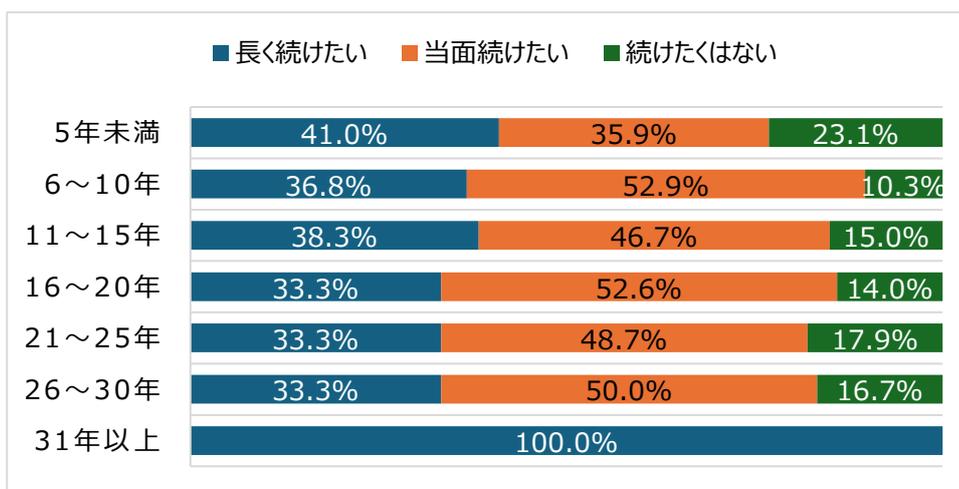


○「続けたくない」と回答した人は「日常的に腰痛を感じる」「時々腰痛を感じる」傾向が高いが、通院は他との比較では少ない。

(サンプル数が少ないことに留意)

⑦ 経験年数との関係

	長く続けたい	当面続けたい	続けたくはない
5年未満	16	14	9
6～10年	25	36	7
11～15年	23	28	9
16～20年	19	30	8
21～25年	13	19	7
26～30年	4	6	2
31年以上	2	0	0



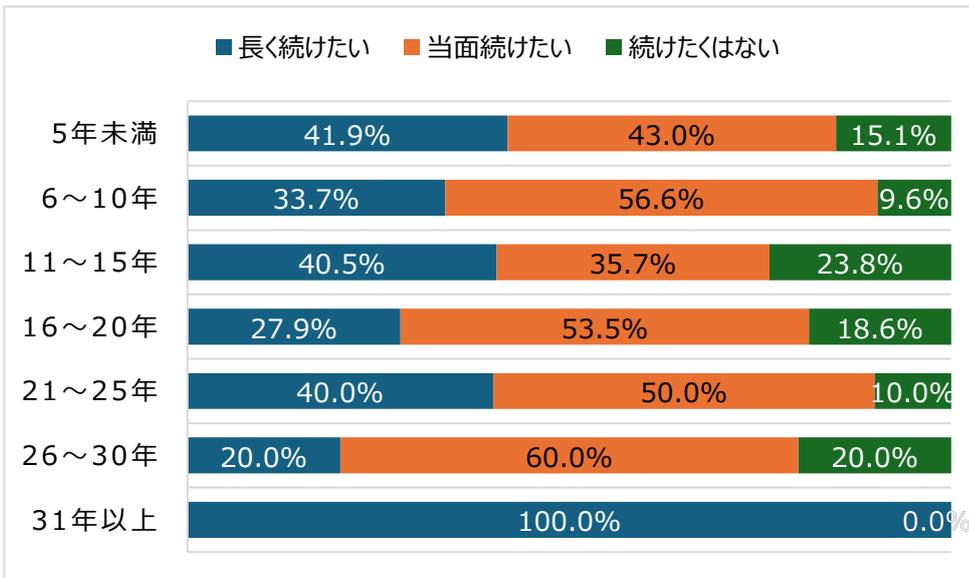
○31年以上はサンプルが少なく検討できない
 ○経験5年未満で「続けたくない」が多い。(入職年の浅い職員に対する就労意欲向上取り組みの必要性)

⑥-2 経験5年未満で「続けたくない」と答えた理由

- 金銭的な待遇に満足できない 4
- ほかに魅力を感じる職業がある 3
- 腰痛が辛いから 3
- 介護の仕事が好きではない、自分に合わない 2
- 夜勤が辛いから 2
- 仕事の価値が社会に認められない 1
- 腰痛以外の身体的な負担が大きい 1
- 夜勤以外の精神的な負担が大きい 1
- 休みをとりにくい 1
- 仕事を続ける年齢でなくなる 1
- 職場環境、雰囲気になじめない 0
- 夜勤など勤務形態が希望に合わない 0
- その他 (専門性がある職業とされてるが、実際には専門性はなくとも従事できてしまう。これではこの業界の未来が見えない。特にロボット・ICT 機器等を導入していくのであればさらに専門性の有無が今後の介護人材に大きく左右されると考える。)
(不穏な利用者様とのコミュニケーションに疲れたから)

⑧ 勤続年数との関係

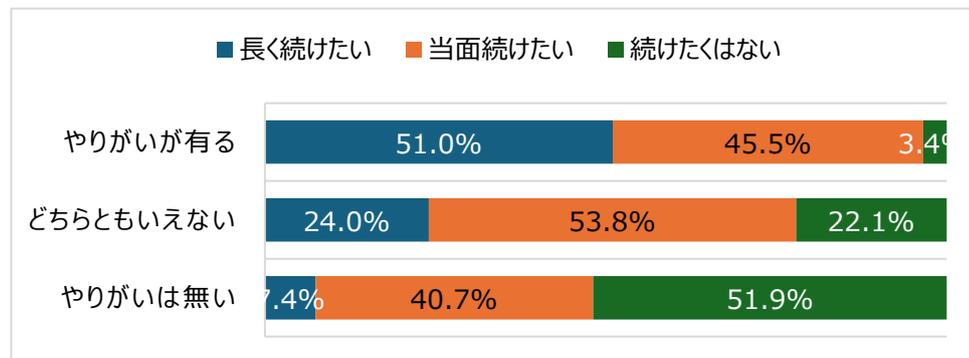
	長く続けたい	当面続けたい	続けたくはない
○5年未満	39	40	14
○6～10年	28	47	8
○11～15年	17	15	10
○16～20年	12	23	8
○21～25年	4	5	1
○26～30年	1	3	1
○31年以上	1	0	0



○31年以上はサンプルが少なく検討できない
 ○勤続年数と就業意欲については比例的な関係性は見られなかった

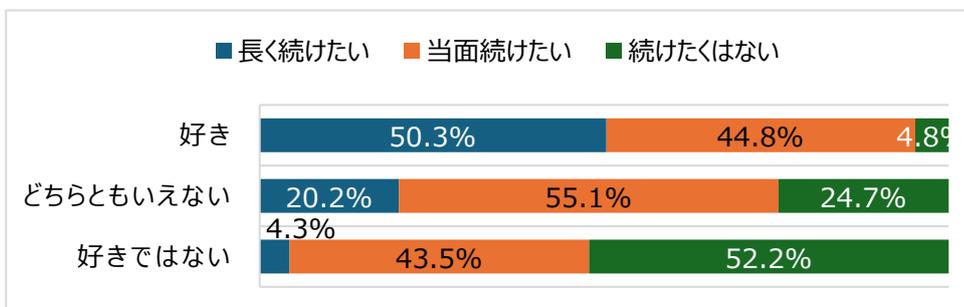
⑨ やりがいの実感との関係

	長く続けたい	当面続けたい	続けたくはない
やりがいがある	74	66	5
どちらともいえない	25	56	23
やりがいは無い	2	11	14



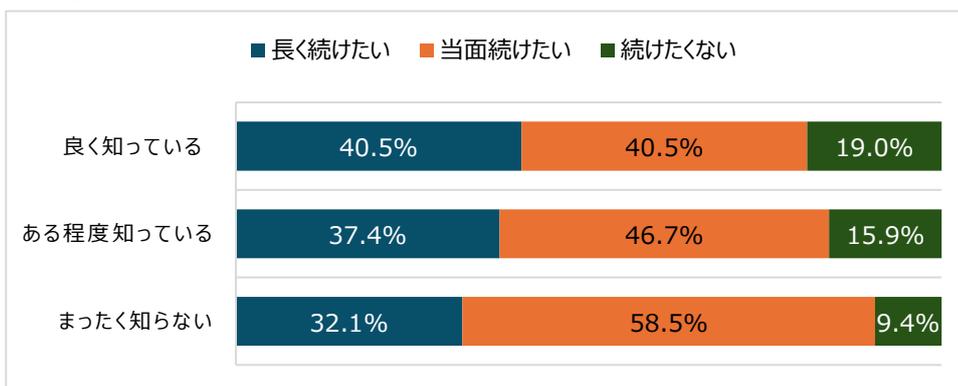
⑩ 介護仕事が好きかどうかとの関係

	長く続けたい	当面続けたい	続けたくはない
好き	83	74	8
どちらともいえない	18	49	22
好きではない	1	10	12



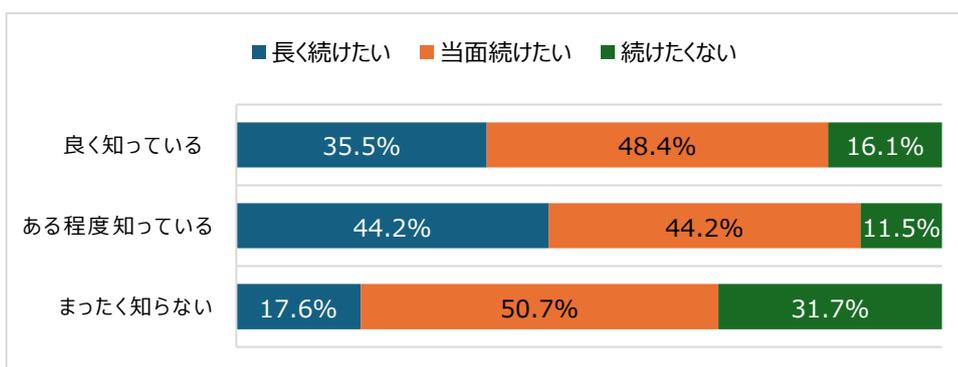
⑪ 課題への関心高さとの関係

(ア) 介護現場の生産性向上



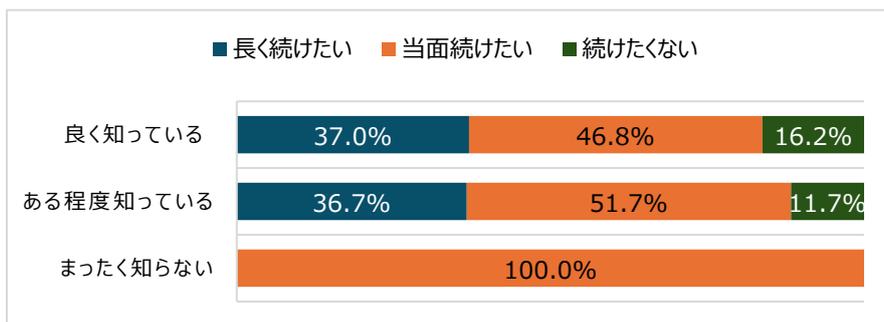
○「介護現場の生産性向上」に関心が高いほど「続けたくない」傾向

(イ) ノーリフティングケア



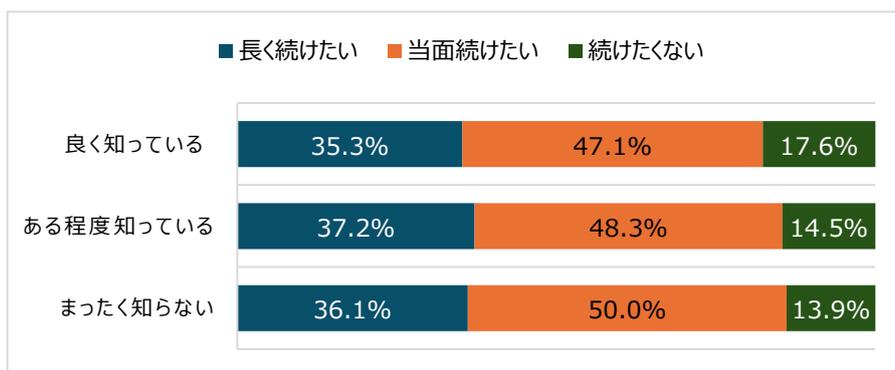
○「ノーリフティングケア」を知っているほど「長く続けたい」傾向
○「ノーリフティングケア」に関心が低い（知らない）ほど「続けたくない」傾向

(ウ) 介護人材の不足



○「介護人材不足」を良く知っている方が「続けたくない」傾向

(エ) 介護ロボット・ICT



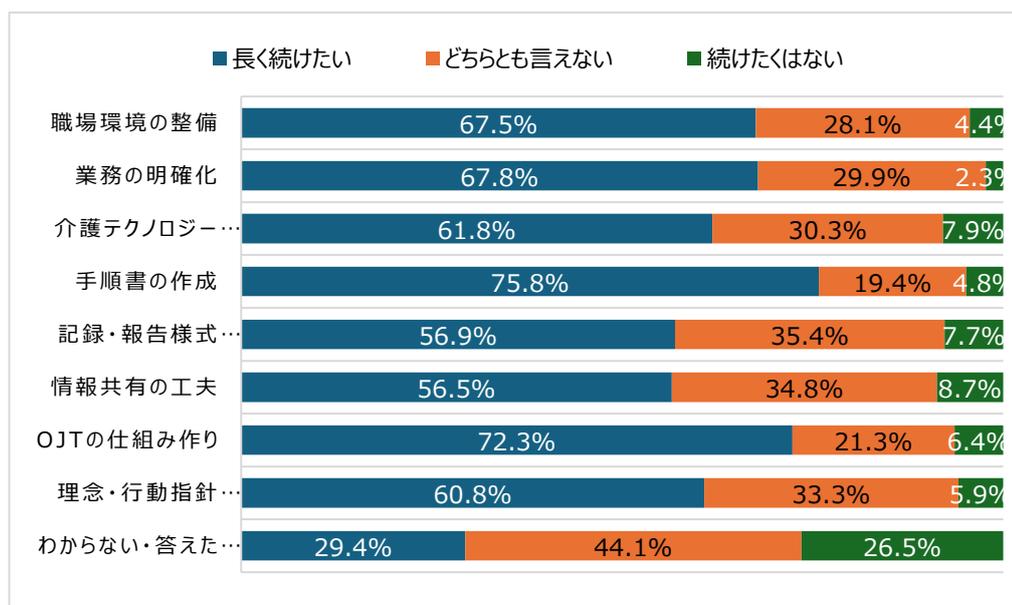
○「介護ロボット・ICT」を良く知っているほど「続けたくない」傾向

4. 職場継続意欲に影響を与える要素

(職場継続意欲 = 今の職場で介護の仕事を続けたいですかの回答内容)

① 業務改善の取り組み内容との関連

	長く続けたい	どちらとも言えない	続けたくはない
職場環境の整備	77	32	5
業務の明確化	59	26	2
介護テクノロジーの導入	47	23	6
手順書の作成	47	12	3
記録・報告様式の電子化	74	46	10
情報共有の工夫	26	16	4
OJTの仕組み作り	34	10	3
理念・行動指針の徹底	31	17	3
わからない・答えたくない	10	15	9



○手順書の作成とそれによる OJT に取り組む事業所が、相対的に「長く続けたい」比率が高い傾向にある

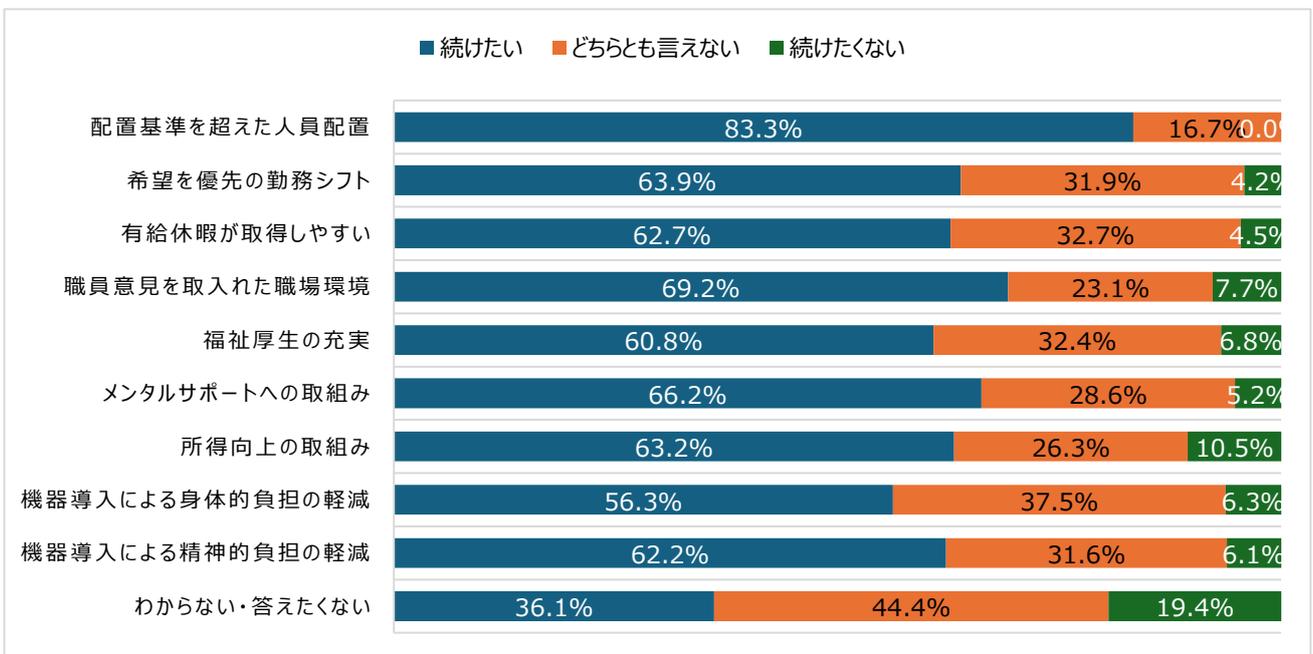
○職場継続意欲が高い職員が感じている業務改善の取組は順に

- ① 手順書の作成
- ② OJT の仕組みづくり
- ③ 業務の明確化
- ④ 職場環境の整備
- ⑤ 介護テクノロジーの導入
- ⑥ 理念・行動指針の徹底
- ⑦ 記録・報告様式の電子化
- ⑧ 情報共有の工夫

(サンプル数にバラツキがあることに留意)

② 待遇改善の取り組み内容との関係

	続けたい	どちらとも言えない	続けたくない
配置基準を超えた人員配置	15	3	0
希望を優先の勤務シフト	92	46	6
有給休暇が取得しやすい	69	36	5
職員意見を取入れた職場環境	36	12	4
福利厚生の充実	45	24	5
メンタルサポートへの取組み	51	22	4
所得向上の取組み	24	10	4
機器導入による身体的負担の軽減	18	12	2
機器導入による精神的負担の軽減	61	31	6
わからない・答えたくない	13	16	7

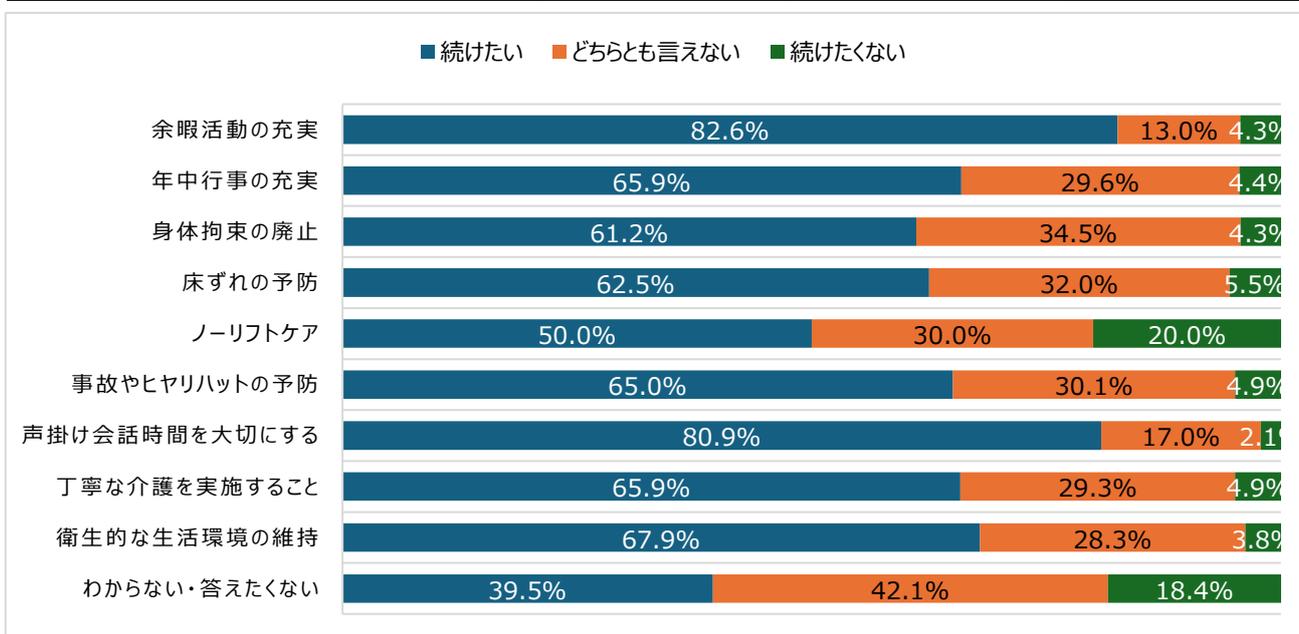


○職場継続意欲が高い職員が感じている待遇改善の取り組みは順に

- ①配置基準を超えた人員配置
 - ②職員意見を取入れた職場環境
 - ③メンタルサポートへの取組み
 - ④希望を優先の勤務シフト
 - ⑤所得向上の取組み
 - ⑥有給休暇が取得しやすい
 - ⑦機器導入による精神的負担の軽減
 - ⑧福利厚生 of 充実
 - ⑨機器導入による身体的負担の軽減
- (サンプル数にバラツキがあることに留意)

③ ケアの質向上の取組との関係

	続けたい	どちらとも言えない	続けたくない
余暇活動の充実	19	3	1
年中行事の充実	89	40	6
身体拘束の廃止	85	48	6
床ずれの予防	80	41	7
ノーリフトケア	5	3	2
事故やヒヤリハットの予防	80	37	6
声掛け会話時間を大切にする	38	8	1
丁寧な介護を実施すること	54	24	4
衛生的な生活環境の維持	36	15	2
わからない・答えたくない	15	16	7



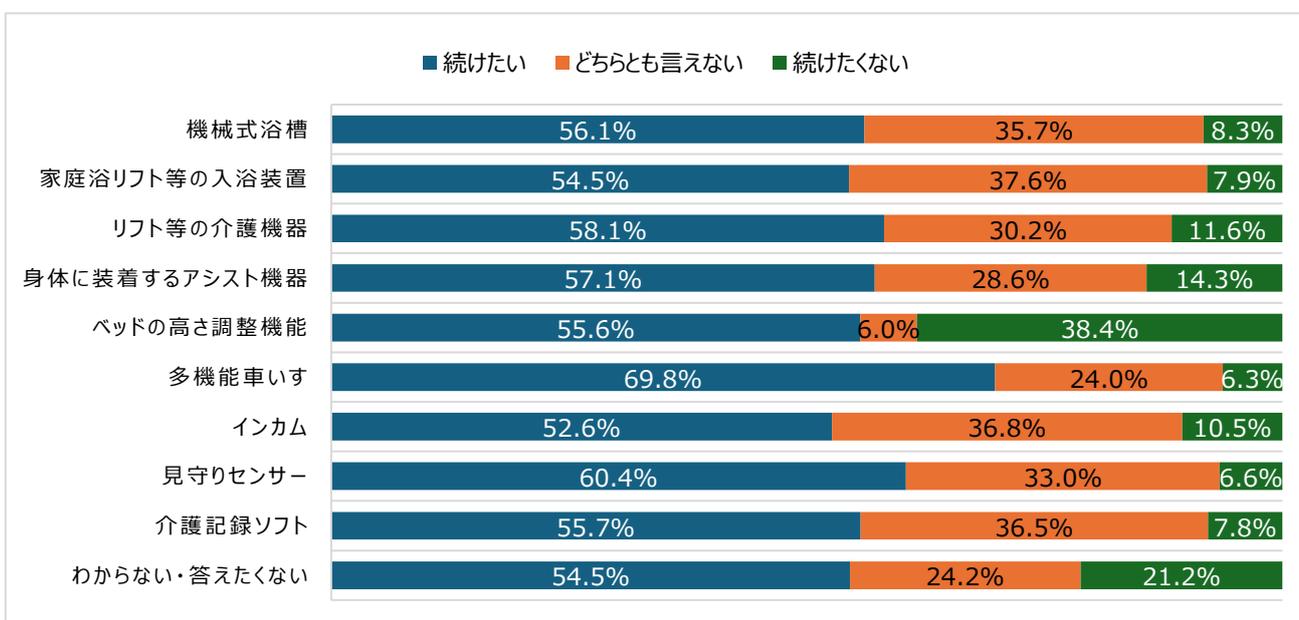
○職場継続意欲が高い職員が感じているケアの質向上の取り組みは順に

- ①余暇活動の充実
- ②声掛け会話時間を大切にする
- ③衛生的な生活環境の維持
- ④年中行事の充実
- ④丁寧な介護を実施すること
- ⑥事故やヒヤリハットの予防
- ⑦床ずれの予防
- ⑧身体拘束の廃止

(サンプル数にバラツキがあることに留意)

④ 積極導入していると感じるテクノロジーとの関係

	続けたい	どちらとも言えない	続けたくない
①機械式浴槽	88	56	13
②家庭浴リフト等の入浴装置	55	38	8
③リフト等の介護機器	25	13	5
④身体に装着するアシスト機器	12	6	3
⑤ベッドの高さ調整機能	12	6	3
⑥多機能車いす	67	23	6
⑦インカム	20	14	4
⑧見守りセンサー	55	30	6
⑨介護記録ソフト	64	42	9
⑩わからない・答えたくない	18	8	7



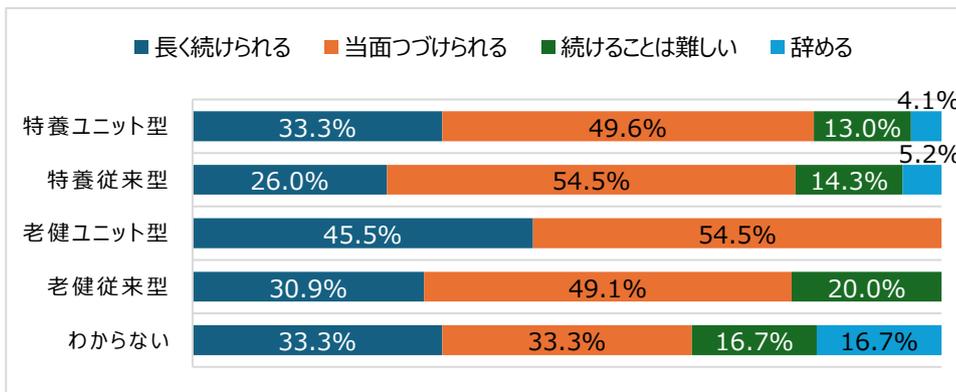
○職場継続意欲が高い職員が感じている導入に積極的なテクノロジーは順に

- ①多機能車いす
- ②見守りセンサー
- ③リフト等介護機器
- ④身体に装着するアシスト機器
- ⑤機械式浴槽
- ⑥介護記録ソフト
- ⑦ベッドの高さ調整機能
- ⑧家庭浴リフト等の入浴装置
- ⑨インカム

5. 施設形態と就業意欲の関係

① 施設形態ごとの就業意欲

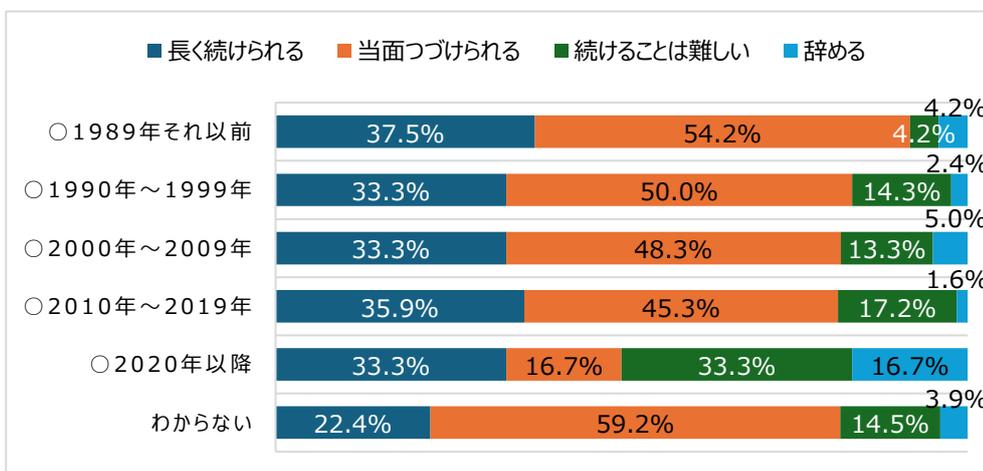
	長く続けられる	当面続けられる	続けることは難しい	辞める予定
特養ユニット型	41	61	16	5
特養従来型	20	42	11	4
老健ユニット型	5	6	0	0
老健従来型	17	27	11	0
わからない	2	2	1	1



○就業意欲が最も高いのは「老健ユニット型」
 ○特養・老健とも従来型と比べユニット型の方が就業意欲が高い傾向

② 施設設立年（建設年）ごとの就業意欲

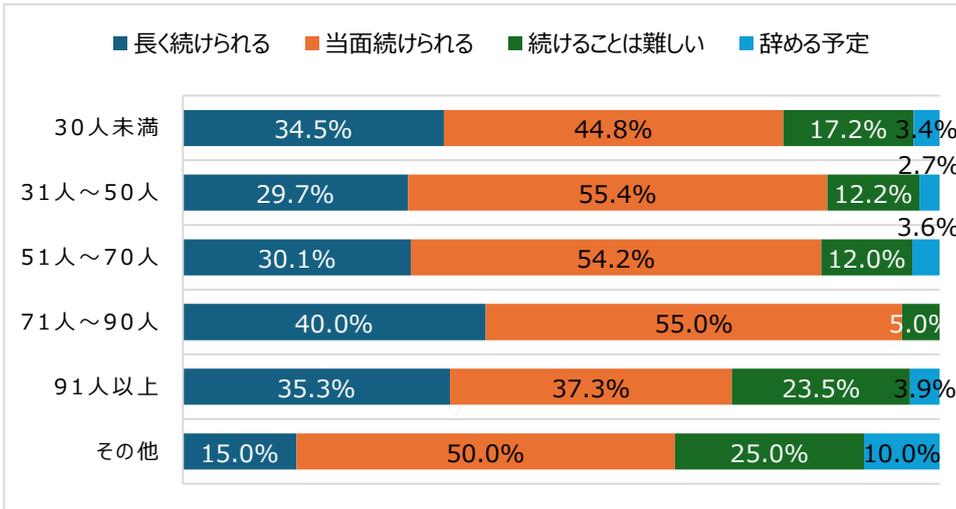
	長く続けられる	当面続けられる	続けることは難しい	辞める予定
○1989年・れ以前	9	13	1	1
○1990年～1999年	14	21	6	1
○2000年～2009年	20	29	8	3
○2010年～2019年	23	29	11	1
○2020年以降	2	1	2	1
わからない	17	45	11	3



○2020年以降はサンプルが少なく有意なデータではない
 ○古い施設の方が「長く続けられる」「当面続けられる」の割合が若干多い傾向

③ 入居者数と就業意欲

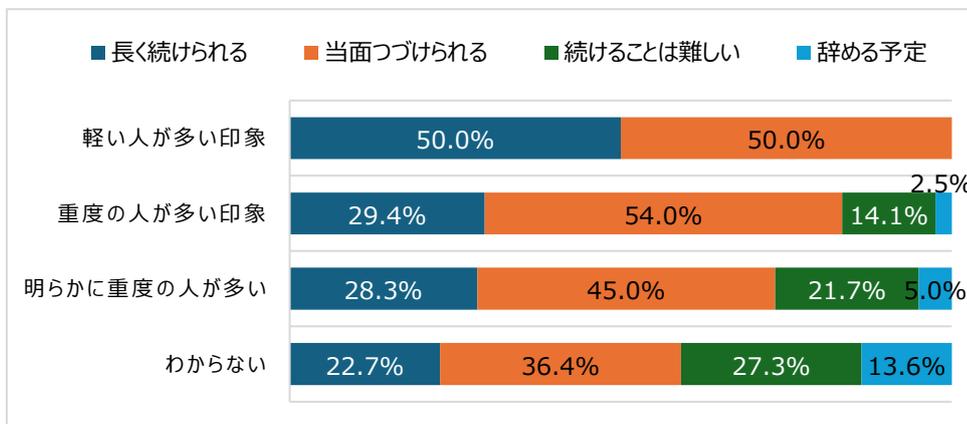
	長く続けられる	当面続けられる	続けることは難しい	辞める予定
30人未満	10	13	5	1
31人～50人	22	41	9	2
51人～70人	25	45	10	3
71人～90人	8	11	1	0
91人以上	18	19	12	2
その他	3	10	5	2



○入居者数（施設規模）と就業意欲については比例的な関連性は見られない

④ 入居者要介護レベルごとの就業意欲

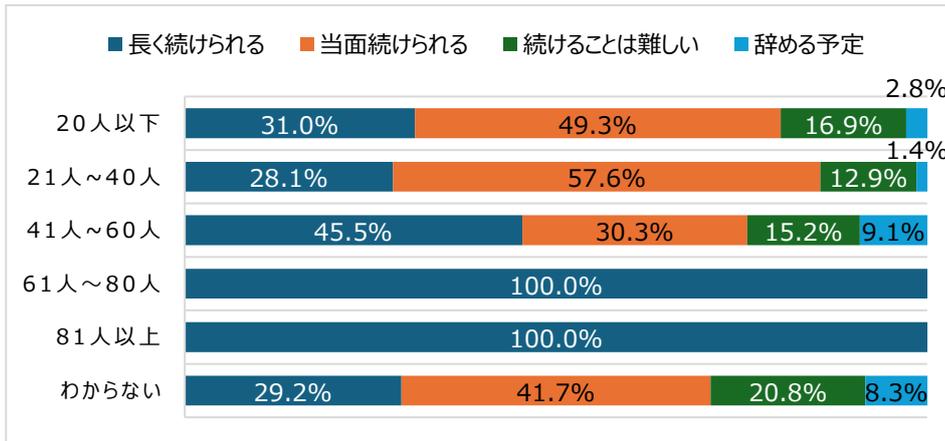
	長く続けられる	当面続けられる	続けることは難しい	辞める予定
軽い人が多い印象	16	16	0	0
重度の人が多い印象	48	88	23	4
明らかに重度の人が多い	17	27	13	3
わからない	5	8	6	3



○入居者状態が軽度なほど就業意欲が高い傾向

⑤ 直接介護にあたる職員の数と就業意欲

	長く続けられる	当面続けられる	続けることは難しい	辞める予定
20人以下	22	35	12	2
21人～40人	39	80	18	2
41人～60人	15	10	5	3
61人～80人	2	0	0	0
81人以上	1	0	0	0
わからない	7	10	5	2



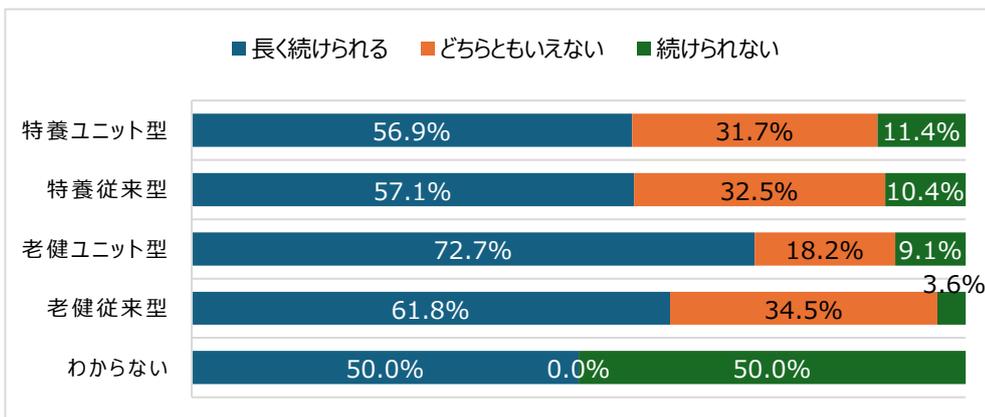
○61人以上はサンプル数が少なく参考にならない

○相関関係は明らかではない

6. 施設形態と職場継続意欲の関係

① 施設形態ごとの職場継続意欲

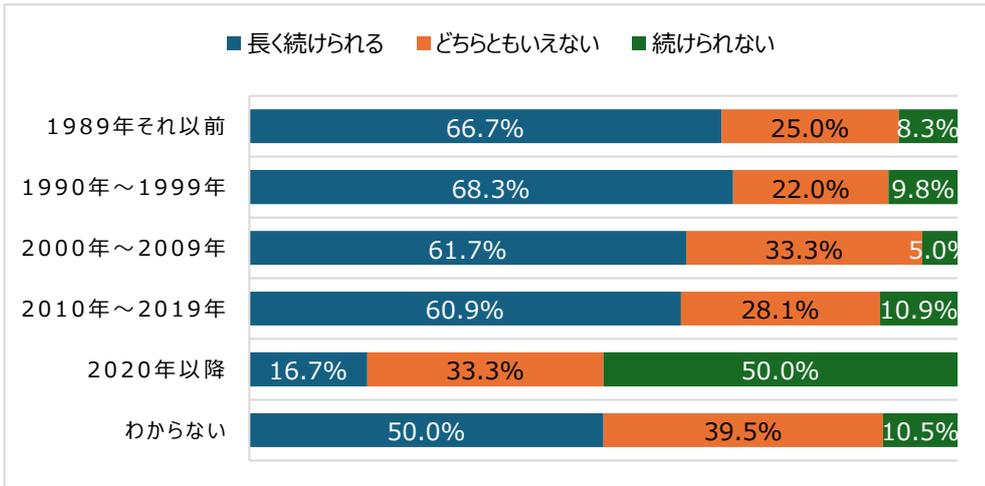
	長く続けられる	どちらともいえない	続けられない
特養ユニット型	70	39	14
特養従来型	44	25	8
老健ユニット型	8	2	1
老健従来型	34	19	2
わからない	3	0	3



○職場継続意欲が最も高いのは「老健ユニット型」
○特養に比べ老健の方が職場継続意欲が高い傾向

② 施設設立年（建設年）ごとの職場継続意欲

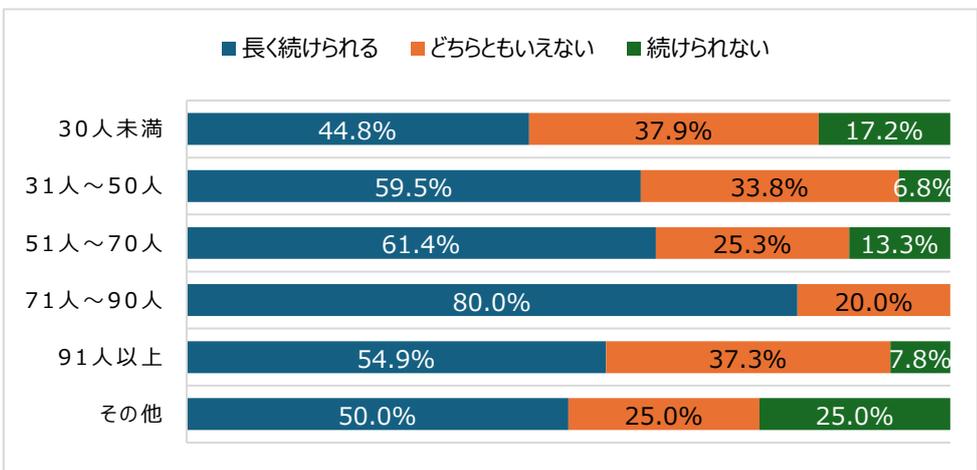
	長く続けられる	どちらともいえない	続けられない
1989年それ以前	16	6	2
1990年～1999年	28	9	4
2000年～2009年	37	20	3
2010年～2019年	39	18	7
2020年以降	1	2	3
わからない	38	30	8



○2020年以降はサンプルが少なく有意なデータではない
 ○古い施設の方が「長く続けられる」の割合が若干多い傾向

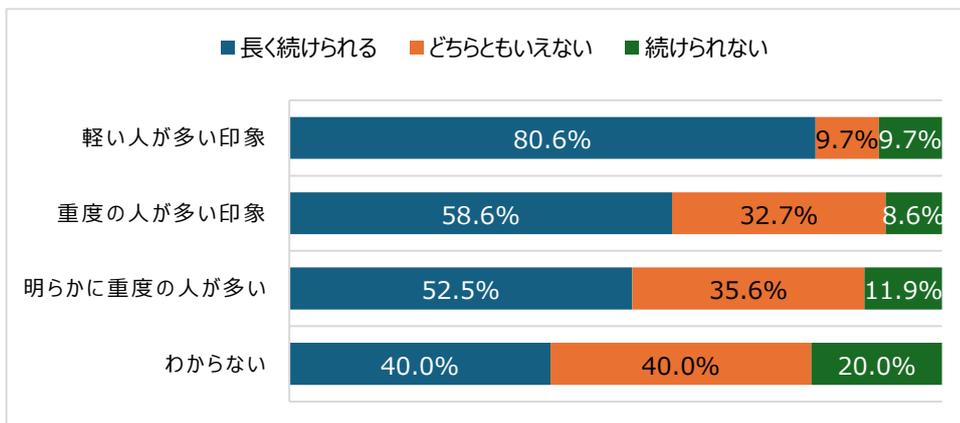
③ 入居者数と職場継続意欲

	長く続けられる	どちらともいえない	続けられない
30人未満	13	11	5
31人～50人	44	25	5
51人～70人	51	21	11
71人～90人	16	4	0
91人以上	28	19	4
その他	10	5	5



④ 入居者要介護レベルごとの職場継続意欲

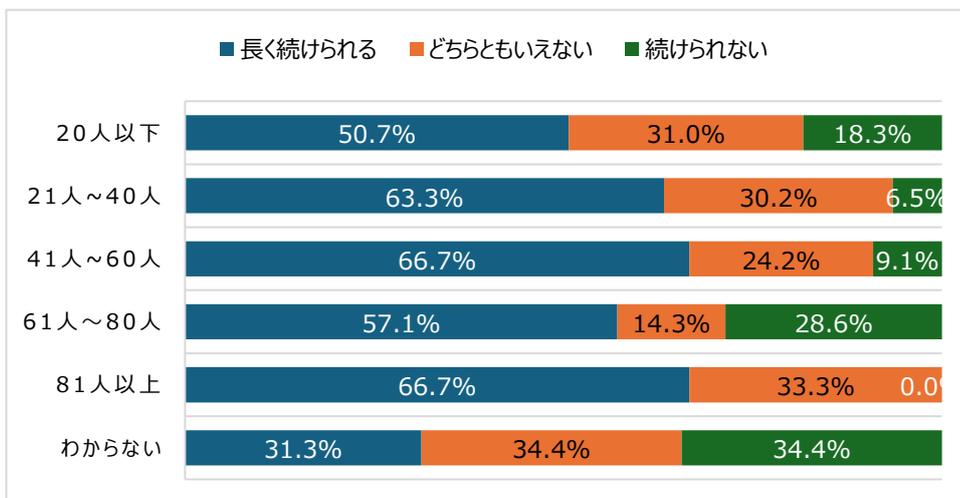
	長く続けられる	どちらともいえない	続けられない
軽い人が多い印象	25	3	3
重度の人が多い印象	95	53	14
明らかに重度の人が多い	31	21	7
わからない	8	8	4



○入居者状態が軽度なほど
職場継続意欲が高い傾向

⑤ 直接介護にあたる職員の数と職場継続意欲

	長く続けられる	どちらともいえない	続けられない
20人以下	36	22	13
21人~40人	88	42	9
41人~60人	22	8	3
61人~80人	4	1	2
81人以上	2	1	0
わからない	10	11	11

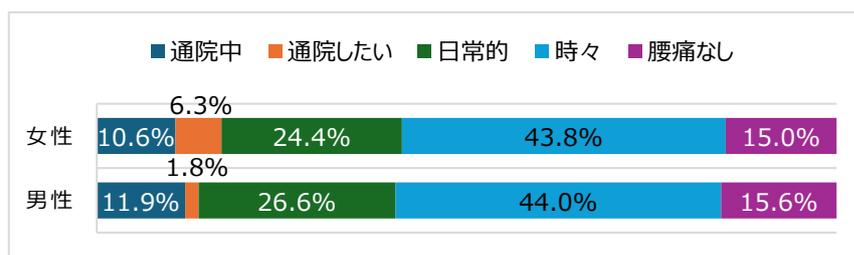


介護ロボット・ICT 機器等が介護職員の就業意識に与える影響についてのアンケート調査
報告書（第3部・腰痛との関連分析）

1. 基本属性と腰痛の関係

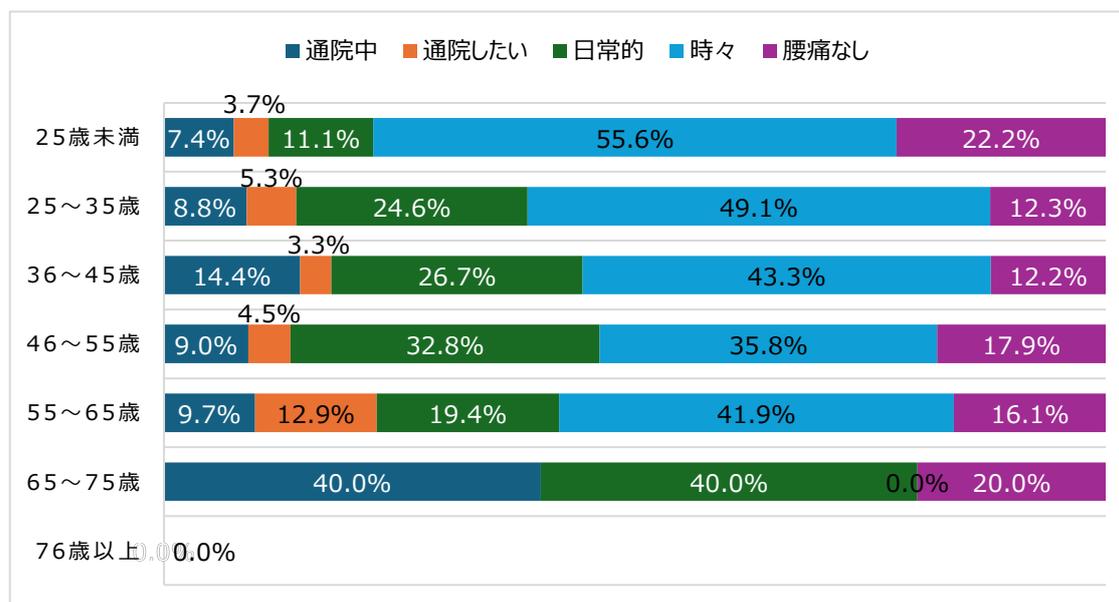
① 性別との関係

	通院して いる	通院した い	日常的 に感じる	時々 感じる	腰痛は ない
男性	13	2	29	48	17
女性	17	10	39	70	24



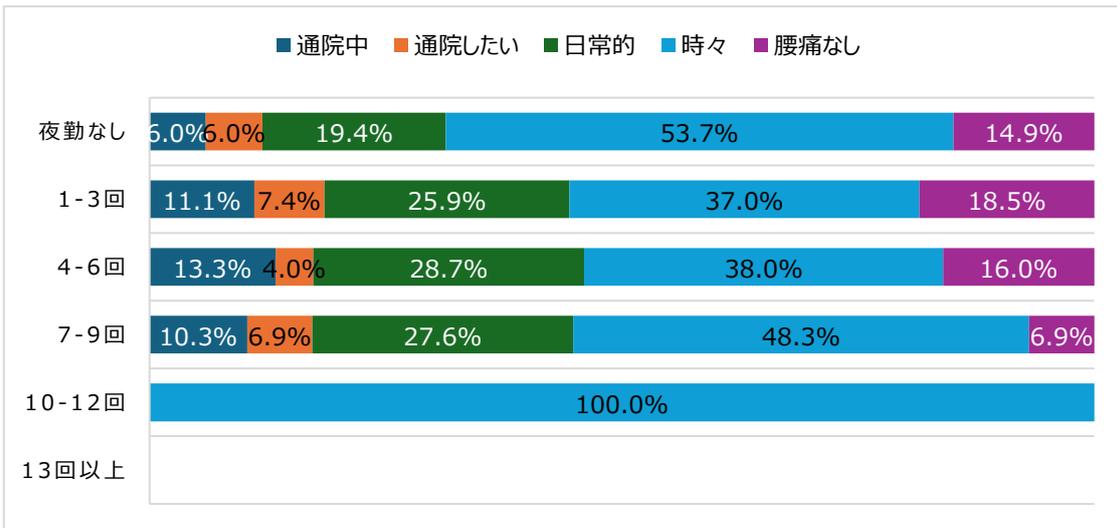
② 年齢との関係

	通院し ている	通院し たい	日常的 に感じる	時々 感じる	腰痛は ない
25歳未満	2	1	3	15	6
25～35歳	5	3	14	28	7
36～45歳	13	3	24	39	11
46～55歳	6	3	22	24	12
55～65歳	3	4	6	13	5
65～75歳	2	0	2	0	1
76歳以上	0	0	0	0	0



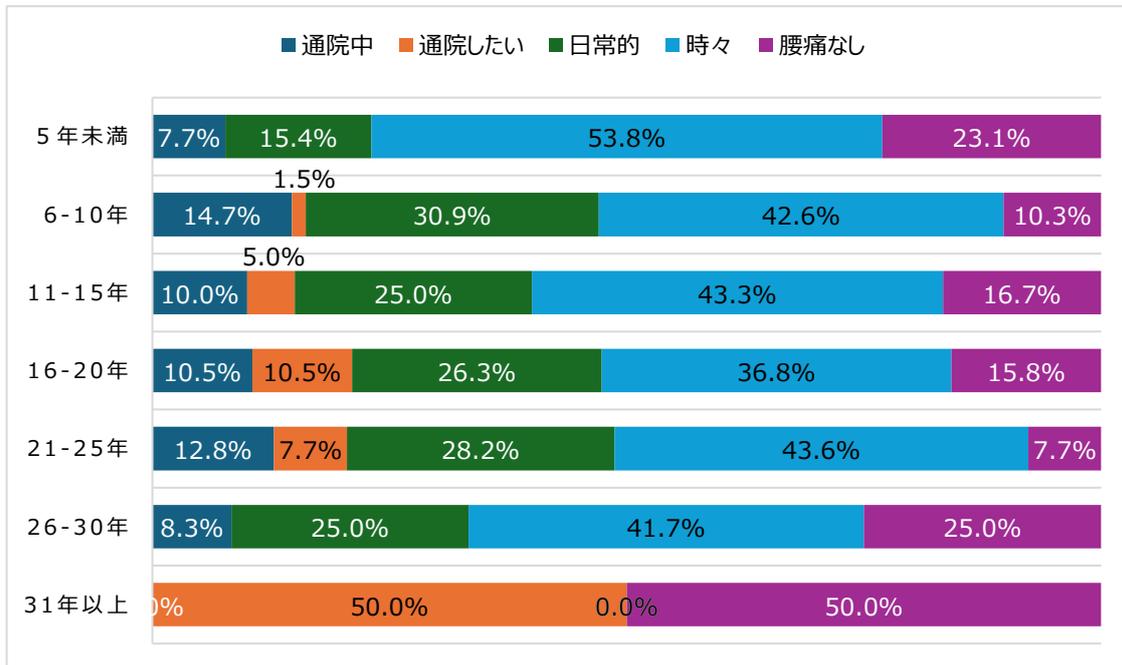
③ 夜勤回数との関係

	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
夜勤なし	4	4	13	36	10
1-3回	3	2	7	10	5
4-6回	20	6	43	57	24
7-9回	3	2	8	14	2
10-12回	0	0	0	2	0
13回以上	0	0	0	0	0



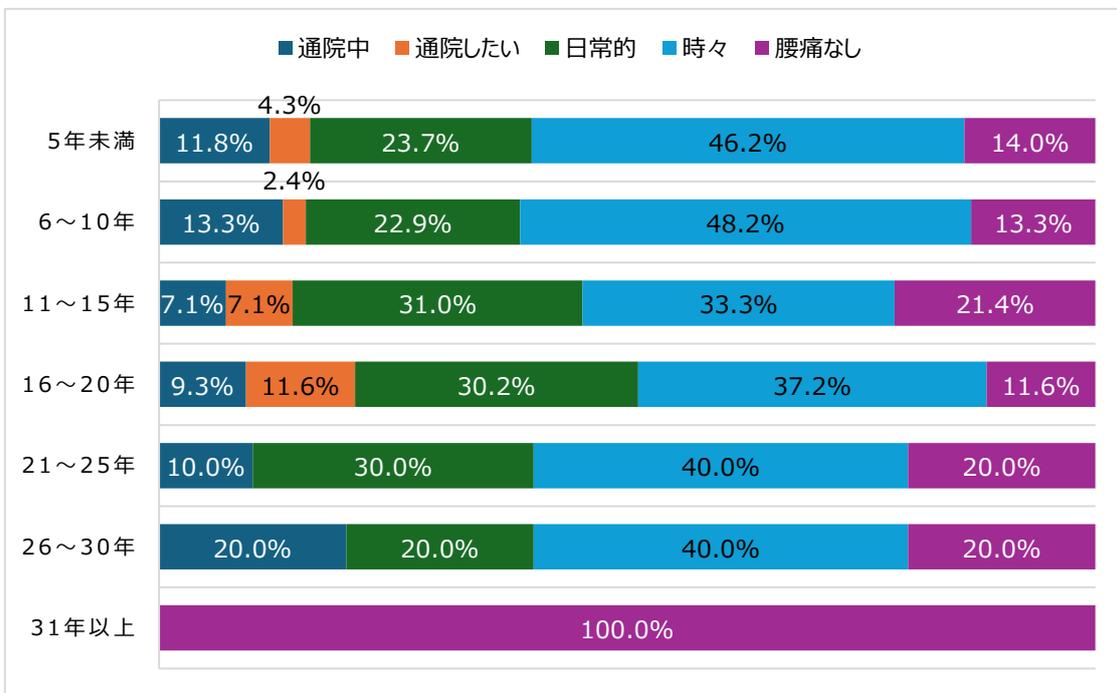
④ 通算介護職経験年数との関係

	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
5年未満	3	0	6	21	9
6-10年	10	1	21	29	7
11-15年	6	3	15	26	10
16-20年	6	6	15	21	9
21-25年	5	3	11	17	3
26-30年	1	0	3	5	3
31年以上	0	1	0	0	1



⑤ 現在の職場の勤続年数との関係

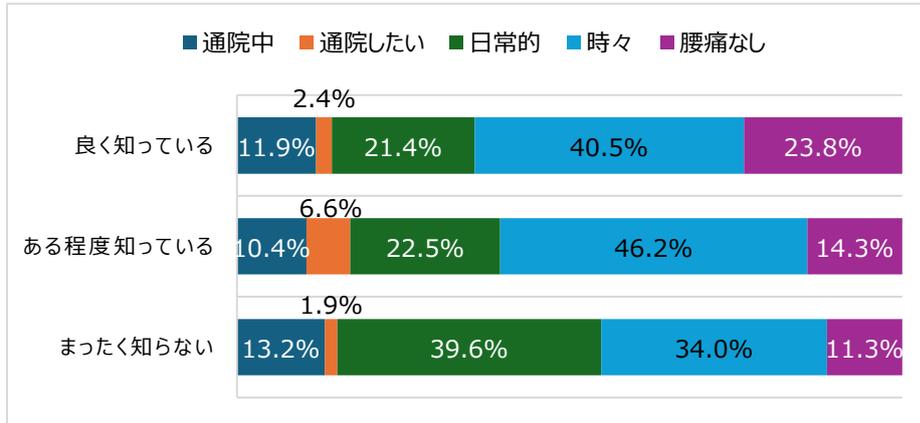
	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
5年未満	11	4	22	43	13
6～10年	11	2	19	40	11
11～15年	3	3	13	14	9
16～20年	4	5	13	16	5
21～25年	1	0	3	4	2
26～30年	1	0	1	2	1
31年以上	0	0	0	0	1



⑥ 課題関心度との関係

イ) 介護現場の生産性向上

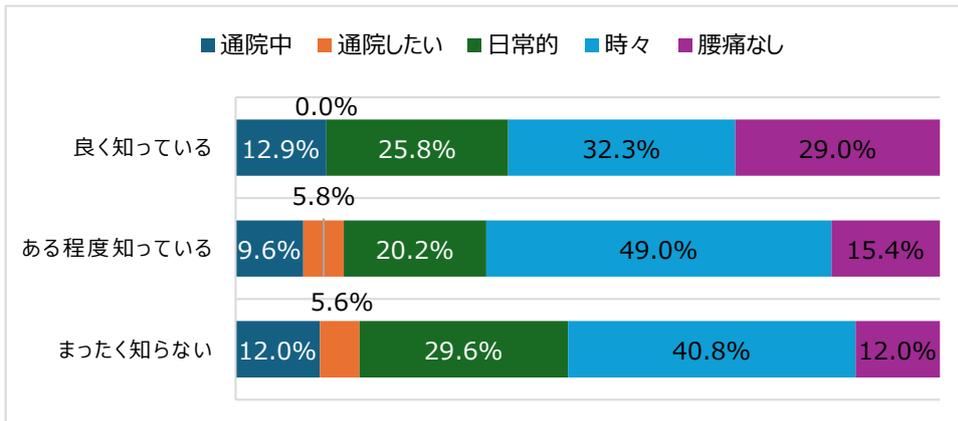
	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
良く知っている	5	1	9	17	10
ある程度知っている	19	12	41	84	26
まったく知らない	7	1	21	18	6



○介護現場の生産性向上に関心がある方が腰痛課題が小さい傾向

ロ) ノーリフティングケア

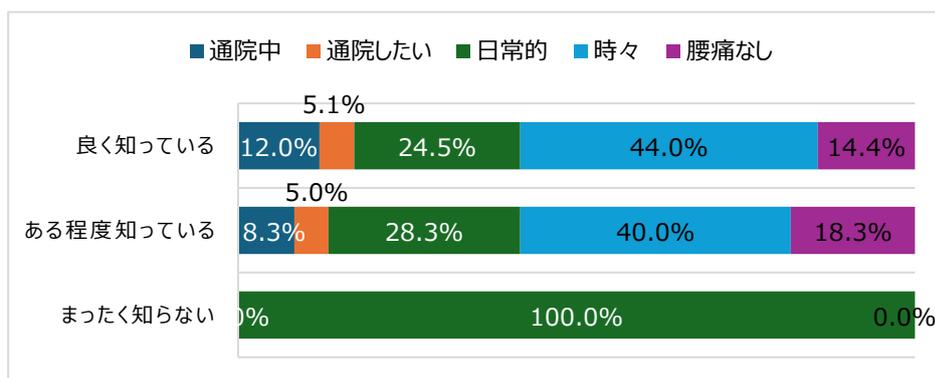
	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
良く知っている	4	0	8	10	9
ある程度知っている	10	6	21	51	16
まったく知らない	17	8	42	58	17



○ノーリフトに関心がある方が腰痛課題が小さい傾向

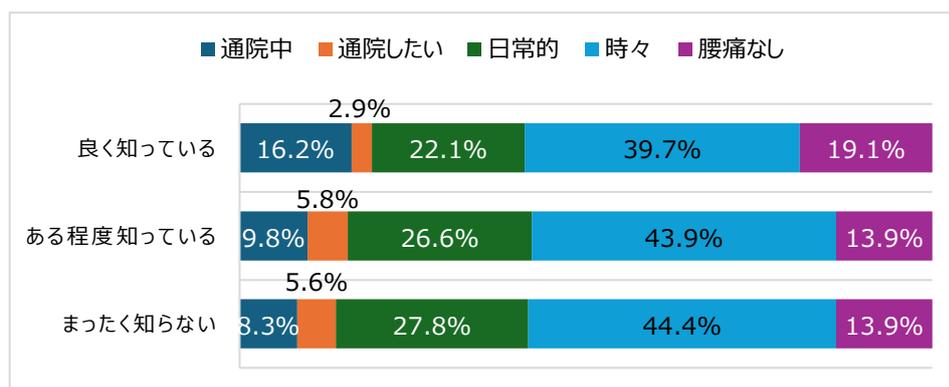
八) 介護人材の不足

	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
良く知っている	26	11	53	95	31
ある程度知っている	5	3	17	24	11
まったく知らない	0	0	1	0	0



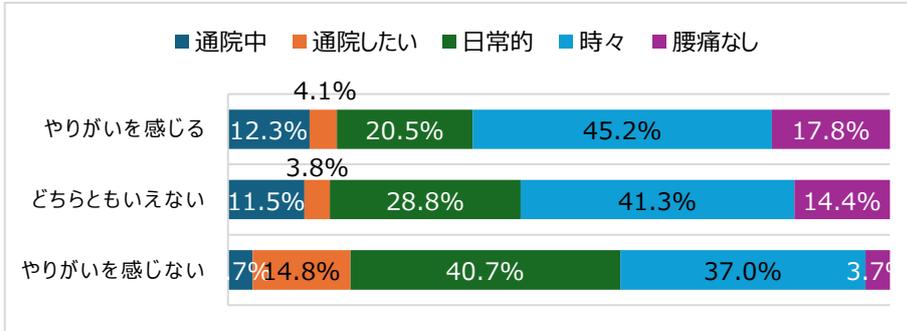
二) 介護ロボット・ICT

	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
良く知っている	11	2	15	27	13
ある程度知っている	17	10	46	76	24
まったく知らない	3	2	10	16	5



⑦介護の仕事にやりがいを感じるとの関係

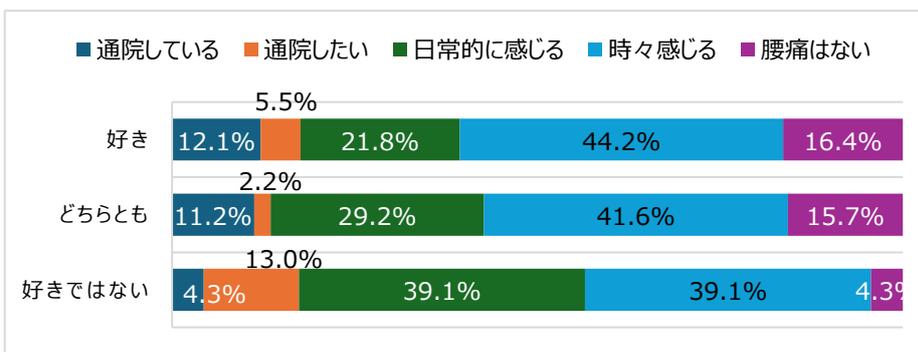
	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
やりがいを感じる	18	6	30	66	26
どちらともいえない	12	4	30	43	15
やりがいを感じない	1	4	11	10	1



○やりがいを感じている方が腰痛課題が少ない傾向

⑧介護の仕事が好きとの関係

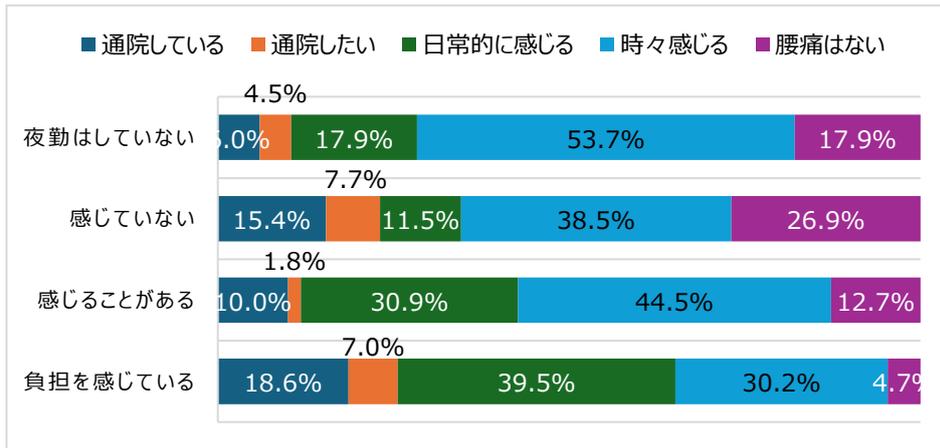
	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
好き	20	9	36	73	27
どちらとも	10	2	26	37	14
好きではない	1	3	9	9	1



○介護の仕事が好きな方が腰痛課題が少ない傾向

⑨夜勤の負担感との関係

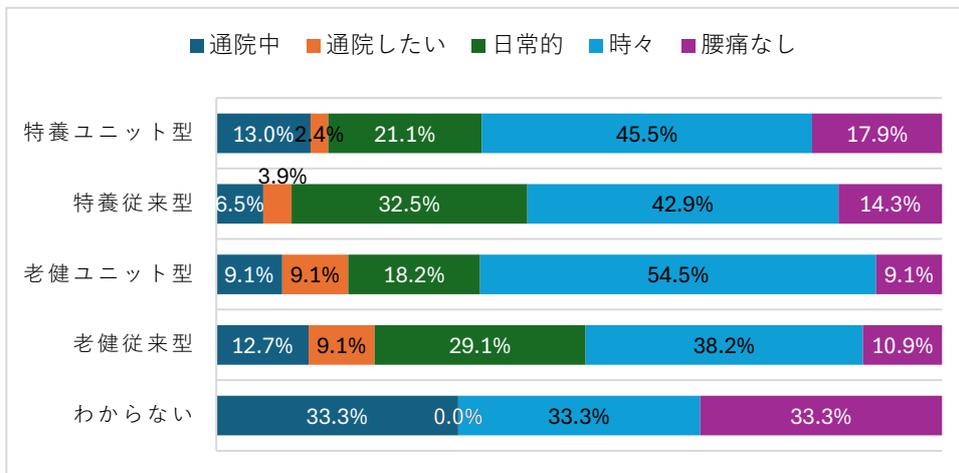
	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
夜勤はしていない	4	3	12	36	12
感じていない	8	4	6	20	14
感じることもある	11	2	34	49	14
負担を感じている	8	3	17	13	2



○夜勤に負担を感じている方が腰痛課題が大きい傾向

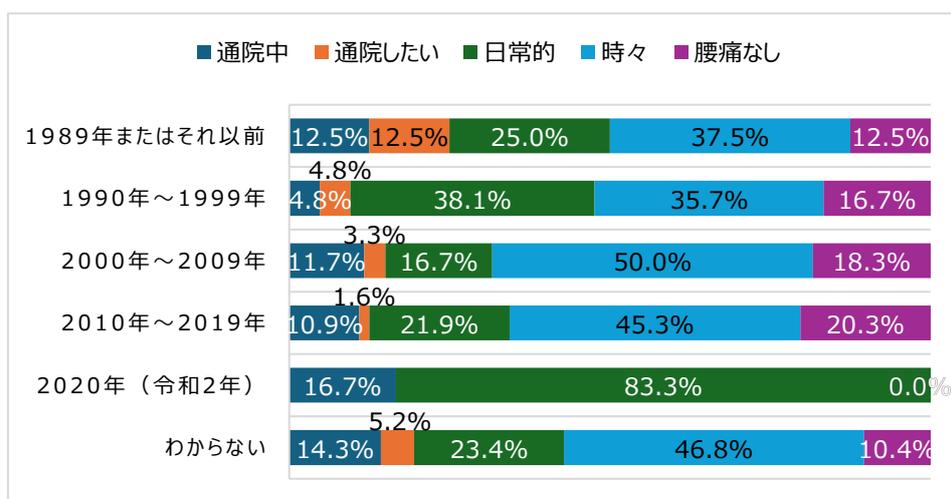
⑩施設形態との関係

	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
特養ユニット型	16	3	26	56	22
特養従来型	5	3	25	33	11
老健ユニット型	1	1	2	6	1
老健従来型	7	5	16	21	6
わからない	2	0	0	2	2



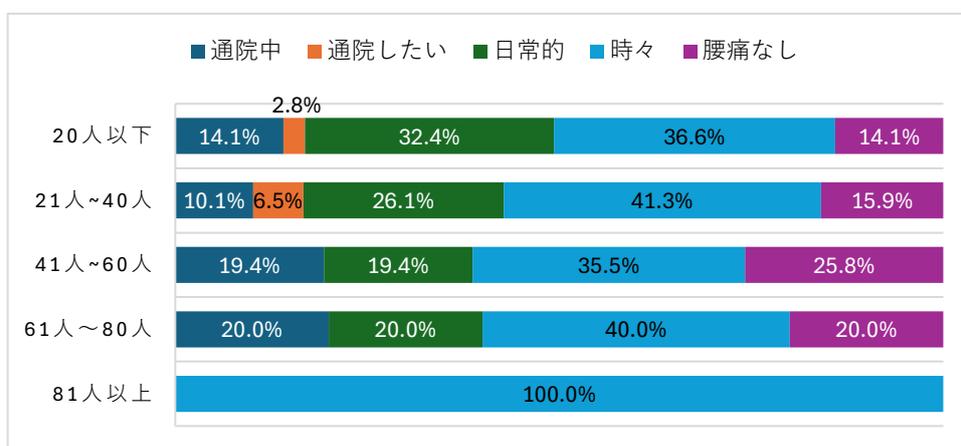
⑪ 設立年（大規模改修をした年代）との関係

	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
1989年またはそれ以前	3	3	6	9	3
1990年～1999年	2	2	16	15	7
2000年～2009年	7	2	10	30	11
2010年～2019年	7	1	14	29	13
2020年（令和2年）	1	0	5	0	0
わからない	11	4	18	36	8



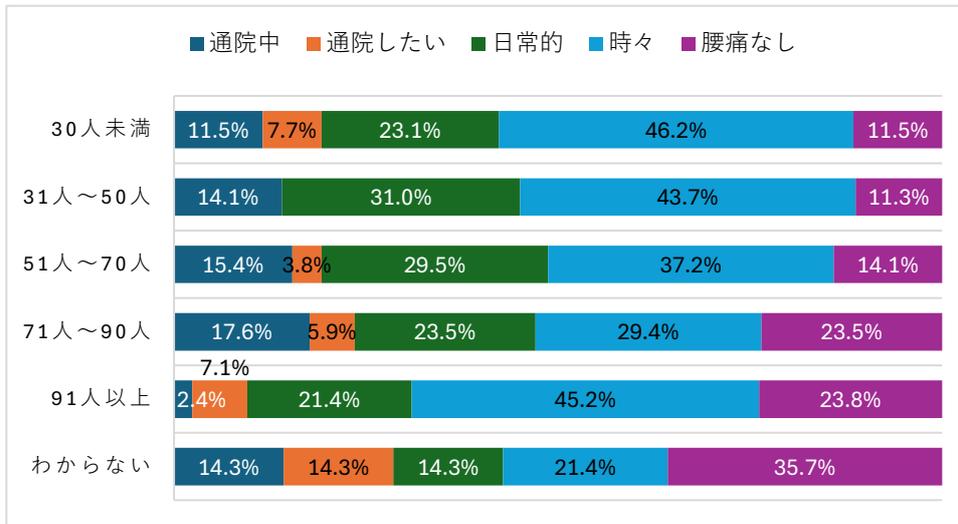
⑫ 職員数との関係

	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
20人以下	10	2	23	26	10
21人～40人	14	9	36	57	22
41人～60人	6	0	6	11	8
61人～80人	1	0	1	2	1
81人以上	0	0	0	3	0



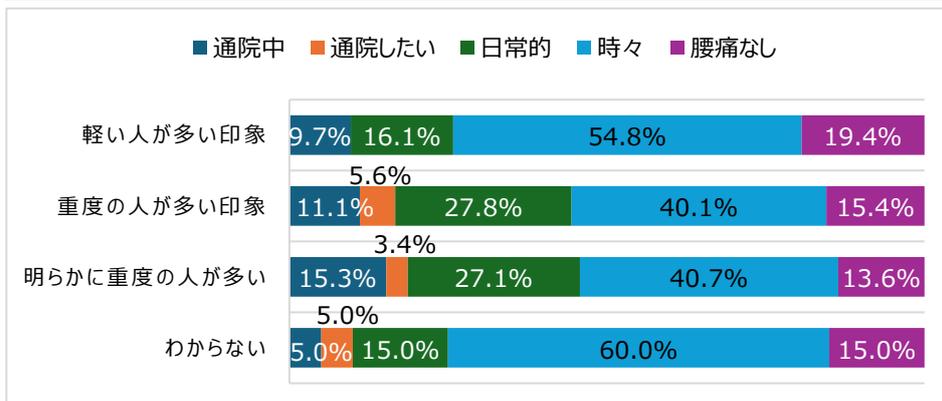
⑬入居者数との関係

	通院し ている	通院 したい	日常的 に感じる	時々 感じる	腰痛 はない
30人未満	3	2	6	12	3
31人～50人	10	0	22	31	8
51人～70人	12	3	23	29	11
71人～90人	3	1	4	5	4
91人以上	1	3	9	19	10
わからない	2	2	2	3	5



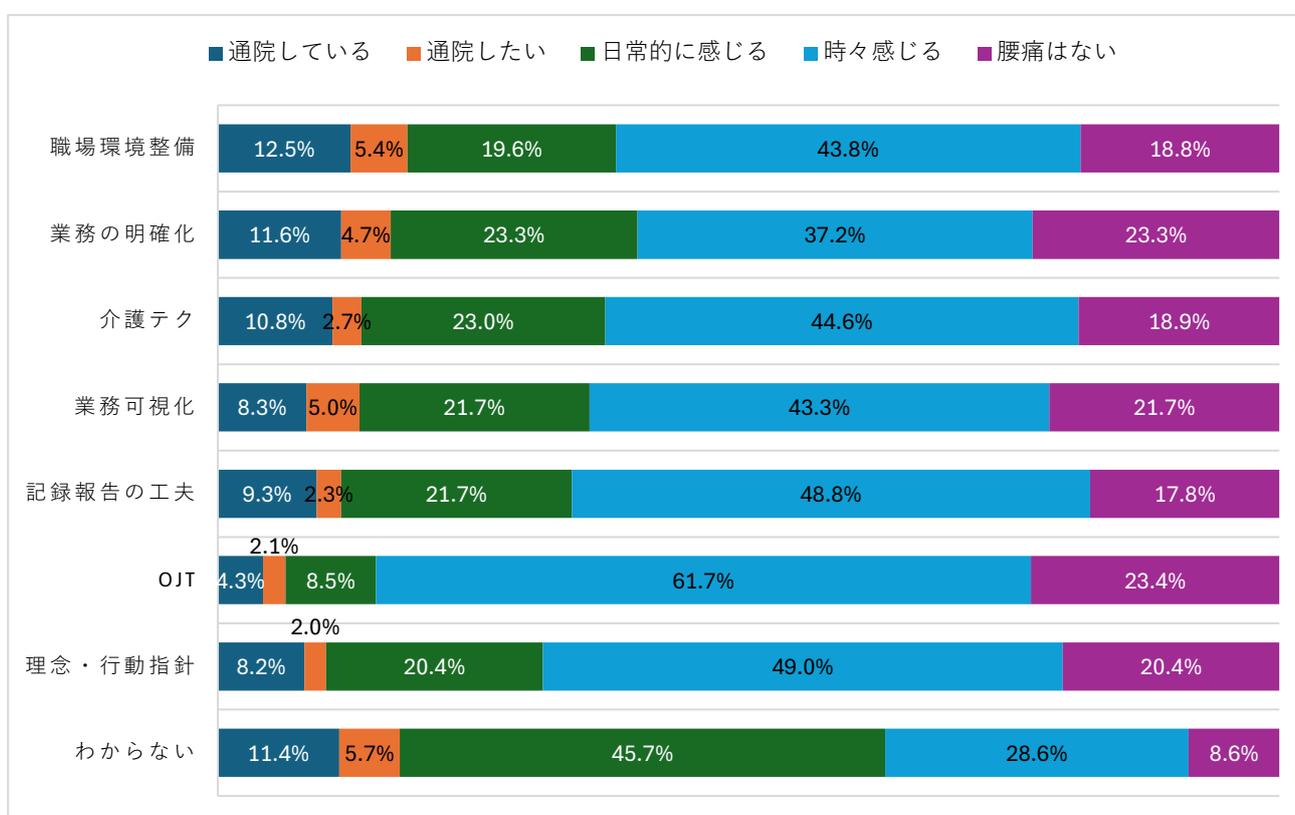
⑭入居者要介護レベルとの関係

	通院し ている	通院 したい	日常的 に感じる	時々 感じる	腰痛 はない
軽い人が多い印象	3	0	5	17	6
重度の人が多い印象	18	9	45	65	25
明らかに重度の人が多い	9	2	16	24	8
わからない	1	1	3	12	3



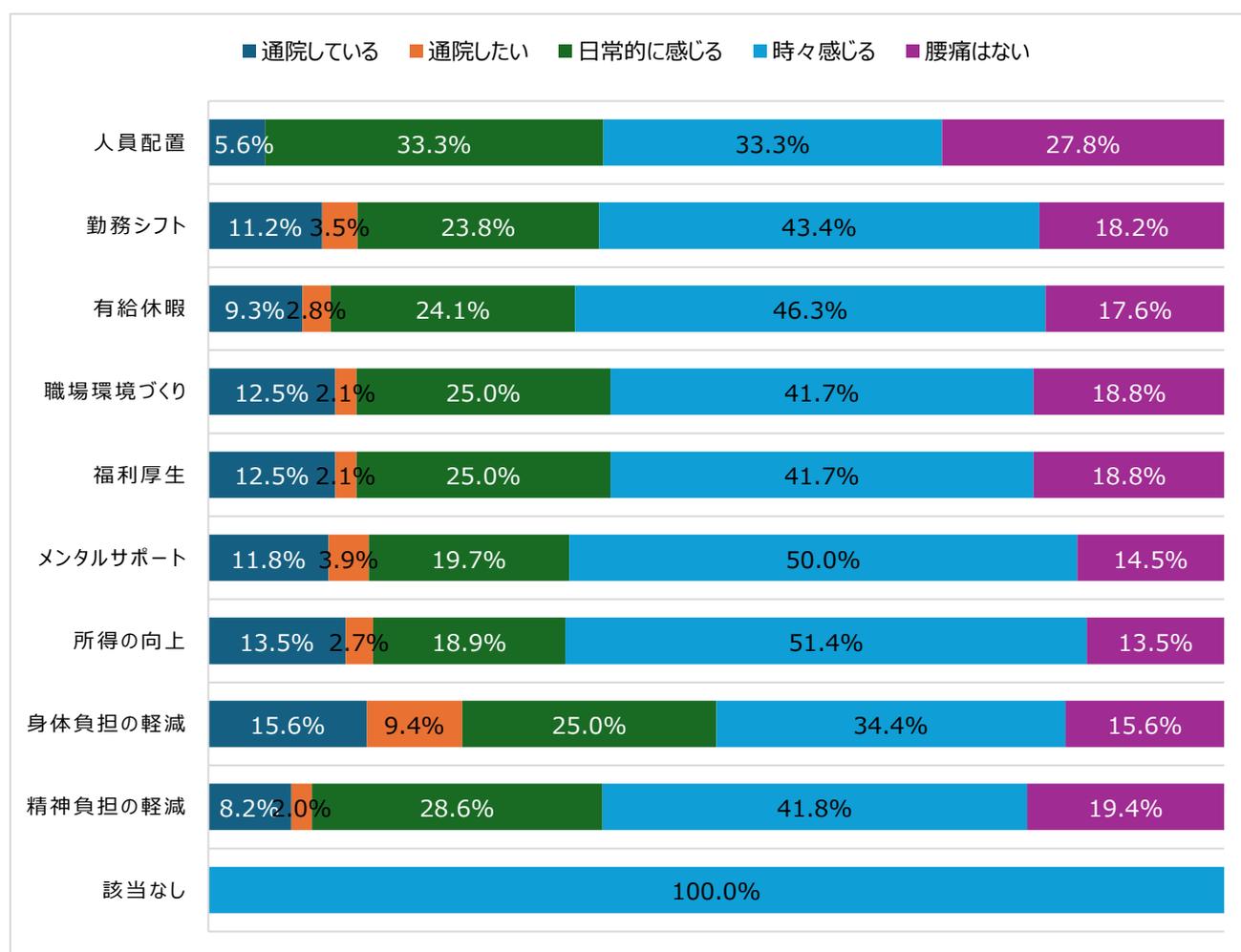
⑮業務改善の取組との関係

	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
職場環境整備	14	6	22	49	21
業務の明確化	10	4	20	32	20
介護テク	8	2	17	33	14
業務可視化	5	3	13	26	13
記録報告の工夫	12	3	28	63	23
OJT	2	1	4	29	11
理念・行動指針	4	1	10	24	10
わからない	4	2	16	10	3



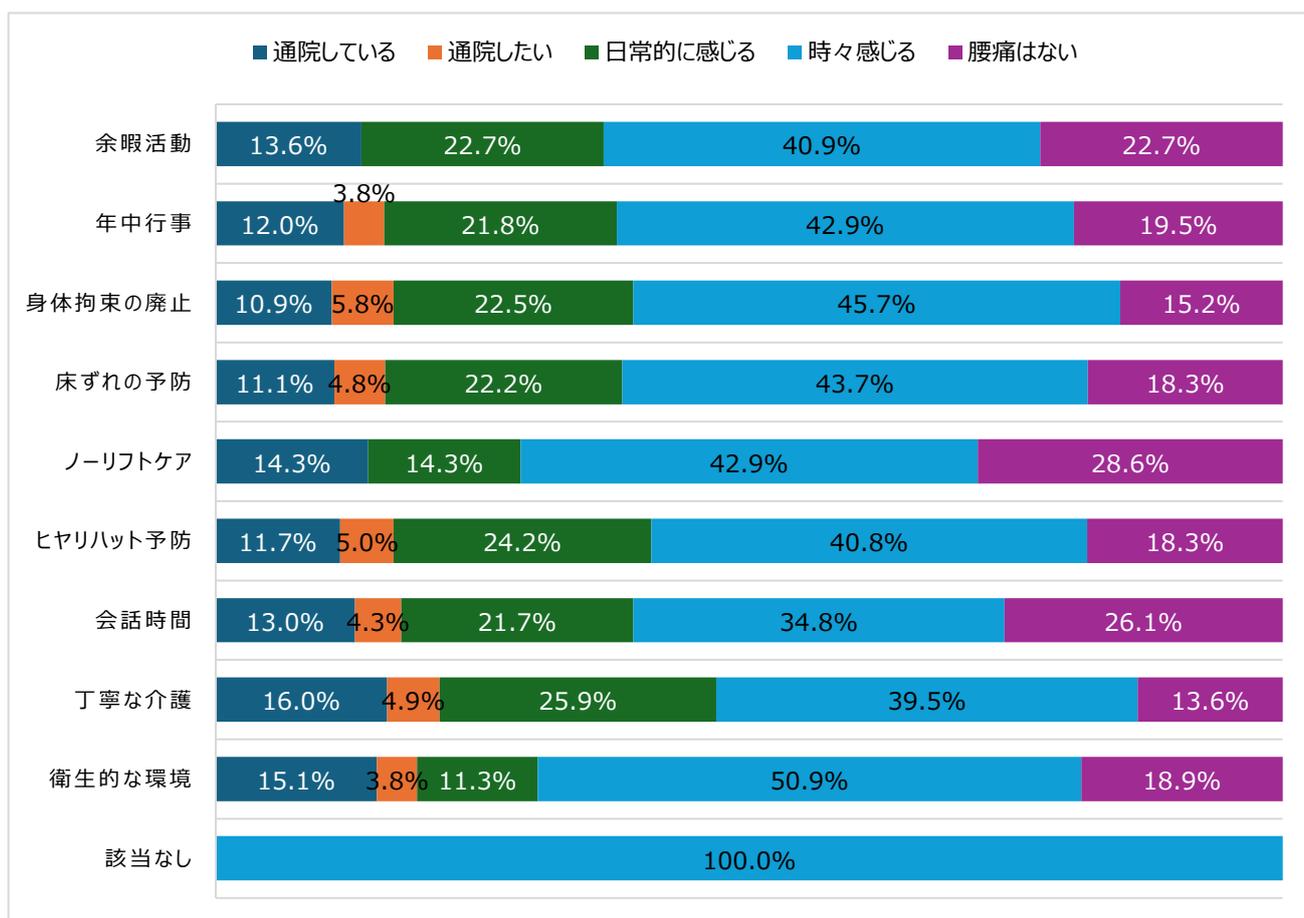
⑩待遇改善の取組との関係

	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
人員配置	1	0	6	6	5
勤務シフト	16	5	34	62	26
有給休暇	10	3	26	50	19
職場環境づくり	6	1	12	20	9
福利厚生	7	5	18	29	13
メンタルサポート	9	3	15	38	11
所得の向上	5	1	7	19	5
身体負担の軽減	5	3	8	11	5
精神負担の軽減	8	2	28	41	19
該当なし	0	0	0	1	0



⑩ケアの質向上の取組との関係

	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
余暇活動	3	0	5	9	5
年中行事	16	5	29	57	26
身体拘束の廃止	15	8	31	63	21
床ずれの予防	14	6	28	55	23
ノーリフトケア	1	0	1	3	2
ヒヤリハット予防	14	6	29	49	22
会話時間	6	2	10	16	12
丁寧な介護	13	4	21	32	11
衛生的な環境	8	2	6	27	10
該当なし	0	0	0	1	0



⑩積極的に活用しているテクノロジーとの関係

	通院している	通院したい	日常的に感じる	時々感じる	腰痛はない
臥位入浴が可能な機械式浴槽	15	10	44	62	26
家庭浴（個浴）リフト	11	4	28	42	16
移乗リフト等	8	2	14	12	8
移乗アシスト機器（装着）	3	2	5	9	3
ベッドの高さ調整機能	14	4	41	67	25
多機能な車いす	10	3	29	41	16
インカム	4	2	12	12	8
見守りセンサー	6	5	26	33	21
介護記録ソフト	7	3	25	55	25

